



# WITTY MANAGER

## ユーザーマニュアル

Manual version 1.1  
Software Version 1.1

# 目次

1	概論	4
1.1	アスリート	4
1.2	テスト	4
1.3	結果	5
1.4	Witty	5
1.5	オプション	5
2	ソフトウェアのインストール	6
3	機能の説明	8
3.1	アスリート	9
3.1.1	アスリートの追加と編集	9
3.1.1.1	アスリート情報	12
3.1.1.2	エクセルを用いた個人情報のインポートとエクスポート	12
3.1.2	スタートリスト	12
3.1.2.1	新しいスタートリストの作成	13
3.1.3	グループの作成と管理	15
3.2	テスト	18
3.2.1	テストの作成と編集	18
3.2.2	グリッドの作成と編集	20
3.3	結果	25
3.3.1	設定パネル	31
3.3.1.1	表示の設定	31
3.3.1.2	並び替え	33
3.3.1.3	フィルター	34
3.3.1.4	印刷	34
3.3.2	グラフ	37
3.3.3	数値データテーブル	38
3.4	Witty	39
3.4.1	Witty のデータをクリア	39
3.4.2	Witty ヘデータをダウンロード	40
3.4.3	Witty からのデータをアップロード	41
3.4.4	Witty ファームウェアのアップデート	42
3.4.5	Witty 光電管ファームウェアのアップデート	43
3.5	オプション	46
3.5.1	基本設定	47
3.5.1.1	言語	47
3.5.1.2	単位	47

3.5.1.3	スピード	47
3.5.1.4	精度	47
3.5.1.5	ウェブカメラ	47
3.5.2	データベース	48
3.5.2.1	データベース	49
3.5.2.2	新規	49
3.5.2.3	選択	49
3.5.2.4	消去	49
3.5.2.5	エクスポートと名前を付けて保存	49
3.5.2.6	インポート	50
3.5.3	アップデートの確認	51
3.5.4	バージョン情報	51
3.6	ヘルプ	51
3.7	終了	51
4	PC 必要システム構成	52

# 1 概論

Witty マネージャーは Witty タイマーキットを管理するソフトウェアです。選手のパーソナルデータを作り、テストを作成し、設定し、タイマーで取得したデータを表示し分析することができます。

Witty マネージャーは、以下に示すように「アスリート」、「テスト」、「結果」、「Witty」、「オプション」という 5 つのセクションから成り立っています。

## 1.1 アスリート

このセクションでは、選手のパーソナルプロフィールを作成し編集します。個人ごとのプロフィールには個人データ、ノート、写真等が含まれます。作成した個人プロフィールは、メインリストに表示され、アルファベット順（日本語はその後ろ）、作成日、および背番号によって並替えることができます。

Witty マネージャーで作成したグループやそのサブグループに個々のアスリートを登録しておくことができますから、テスト実施時や結果の分析や比較時に選手のデータを簡単に探すことができます。

また、「スタートリスト」を作成することができます。このリストを Witty タイマーに転送することによって、テストを実施する際のスタート順を決めておくことができます。これにより、テストをするたびに、スタートする順をその場でいちいち入力する必要がなくなり、スムーズにテストを実行することができるようになります。

## 1.2 テスト

本ソフトウェアのメイン機能ともいえるのがこのテストセクションです。作成できるテストには 3 つのタイプがあります。ベーシック、マルチスタート、カウンターです。

ベーシックとは、1 人ずつ順番にテストを実施し、1 人の選手の測定が終わったら次の選手がスタートするというほとんどのテストはこのタイプです。ベーシックテストには、リニア（スタートからゴールまでの直線または周回コースでラップ有りでも無しでも作成可能です）、シャトル（ある地点から別の地点までの往復や反復を行うテスト）およびマルチスタートテストという 3 種類のテストが含まれます。マルチスタートというのは、スタートした選手がゴールする前に次の選手がスタートするというテストです。カウンターとは、決められた時間内に決められた運動を何回反復できるか、あるいはその逆に、決められた運動を決められた回数繰り返すのにどれだけの時間を要するかを計測するテストです。

繰り返し間の休息時間の長さや、ある運動を実行する時間の長さについての「タイムリミット」を設定することができます。

テストセクションの表示グリッドオプションにより、ユーザーは結果で分析したいとおりにテストの結果の設定を行うことができます。例えば時間、スプリットタイム、ラップタイム、スピード等々をどのような順序で表示させるかを定めることもできます。

## 1.3 結果

このセクションでは終了したテストの結果を見ることができます。  
選手名でフィルターをかけることや（選手名を入力するとその選手のデータだけが表示される）、テストタイプ、実施日、それらの組み合わせで絞り込むことができます。  
テストが選択され、ビューモードが入力されれば、事前に設定したテーブルのレイアウトに基づいて、データはグラフと数値で表示されます。得られる情報を対話形式でくわしく分析し編集するために、個人の必要性に応じて設定することができます。  
もちろんデータはワンクリックで印刷することもエクスポートすることもできます。レポート作成することも簡単です（テストを選び、印刷したいデータを設定し、ロゴを付け加えたりすることもできます）。

## 1.4 WITTY

ソフトウェアのこのセクションにより、あなたの Witty タイマーとソフトウェアの間のデータのやり取りが可能となります。例えば保存されていたデータを消去したり、PC からタイマーへデータをダウンロードしたり、逆にタイマーから PC でデータをアップロードしたり、Witty や光電管のファームウェアのアップデートも行えます。

## 1.5 オプション

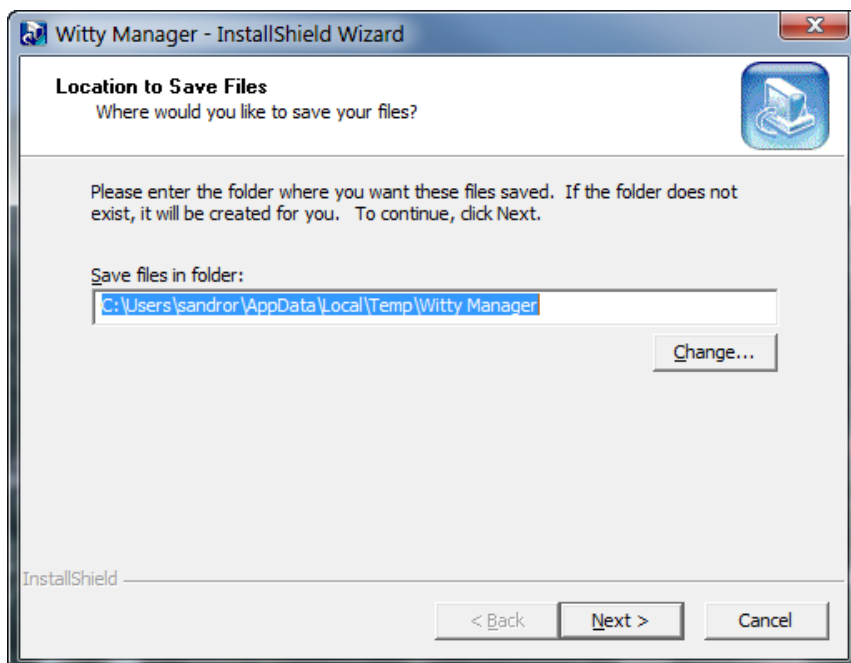
オプションのセクションでは以下のことを行うことができます。基本設定（言語の選択、測定単位の設定、時間精度の選択等）、データベース管理（新規作成、編集、名前の変更）、アップデートの確認（オンラインに接続されていれば、Witty マネージャの最新バージョンを自動的にチェックします）、さらにインストールされているファームウェア、ソフトウェアそしてハードウェアのバージョンに関する情報を通知しアップデートします。



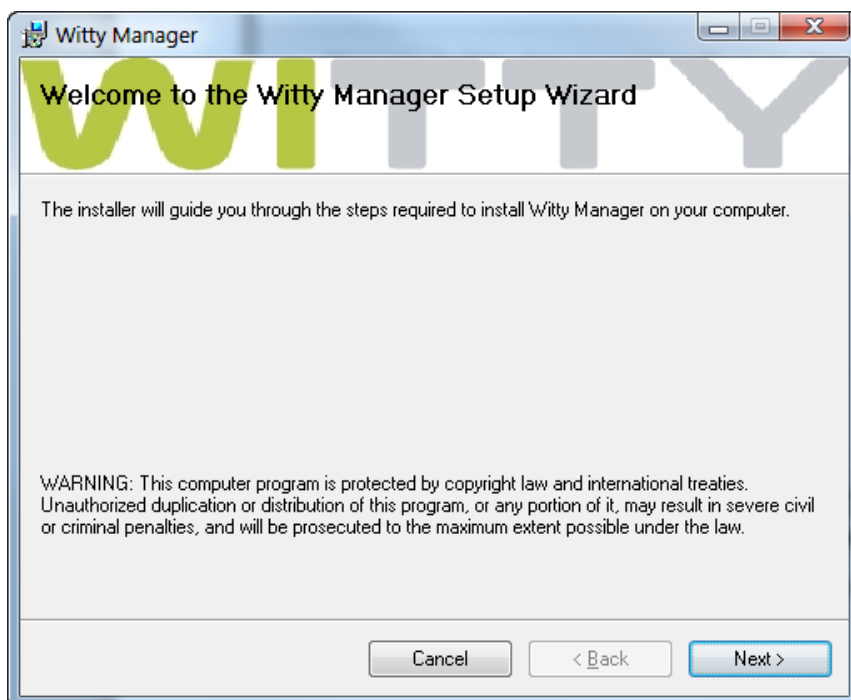
## 2 ソフトウェアのインストール

Witty マネージャー.exe セットアップファイルをフラッシュドライブまたはウェブ~ダウンロードし立ち上げてください。

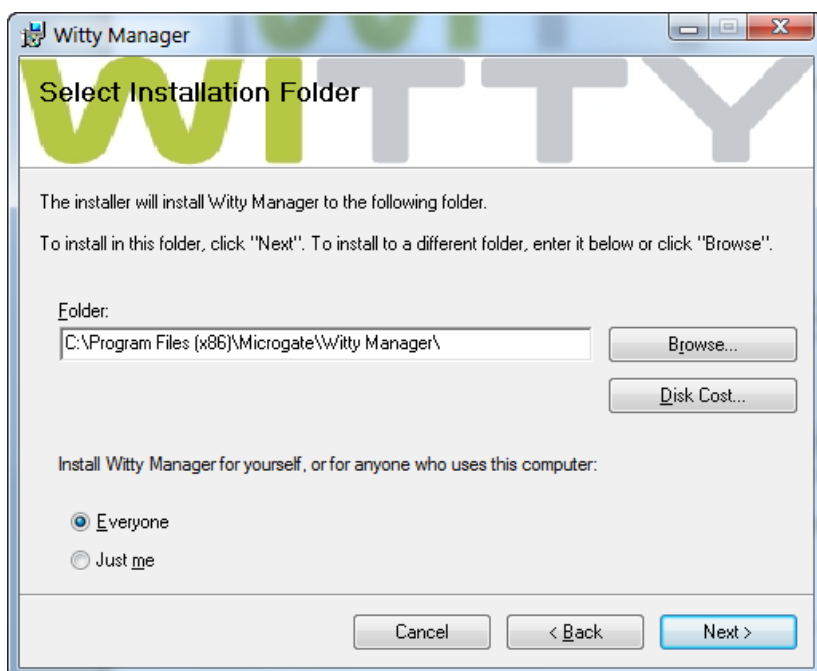
最初にどこにインストールするかを聞いてきますが、特に何も変更せず <Next>で次に進みます。



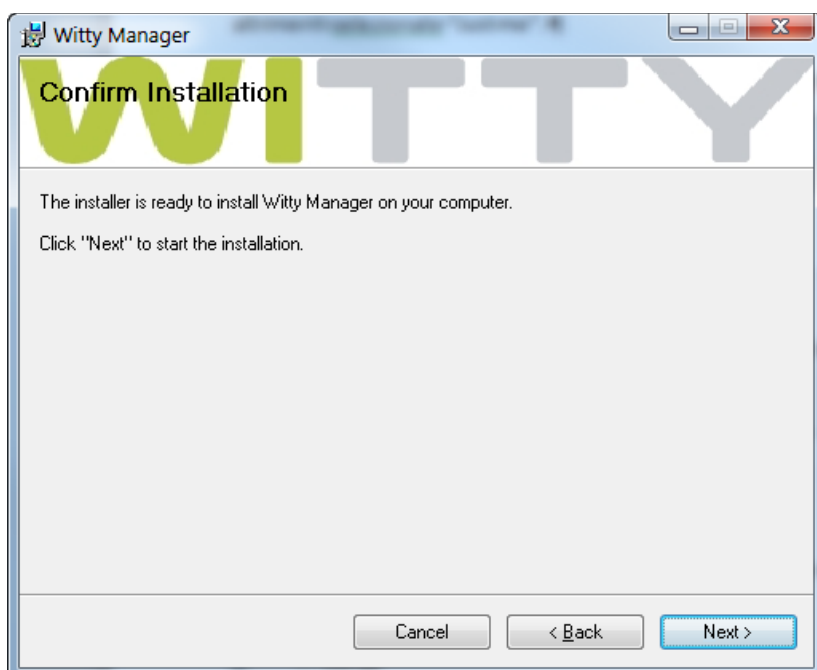
インストールプログラムが開きますので、<Next>をクリックしてください。



ソフトウェアをインストールする場所を選ぶことができます。コンピュータにアクセスできる人全員にこのソフトの仕様を許可する場合は“Everyone”、それ以外は“Just me”を選びます。特に問題がなければ何も変更せず “Everyone”を選んで <Next>をクリック。



次のウィンドウでソフトウェアのインストールが始まります。全ての設定に問題がなければ <Next>をクリック。



進行状況が表示され、セットアッププログラムによって製品がインストールされます。ソフトウェアを立ち上げるには、デスクトップまたはスタートメニューから Witty マネージャーアイコンをクリックします。

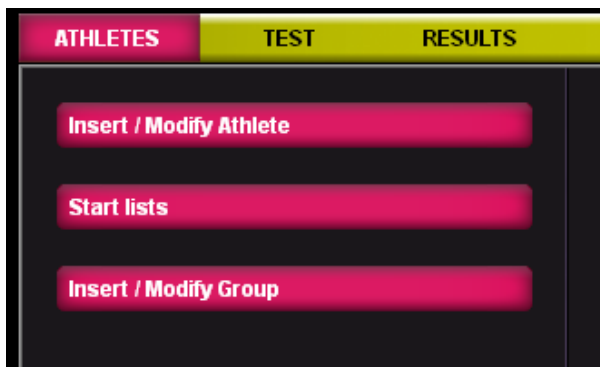
### 3 機能の説明

この章では Witty マネージャーの個々のメニューの詳細を説明します。まずメインメニューの機能から始めましょう。





## 3.1 アスリート

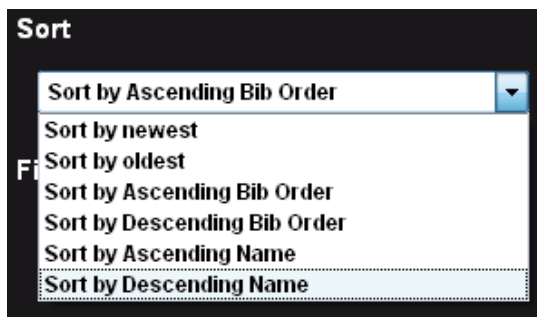


### 3.1.1 アスリートの追加と編集

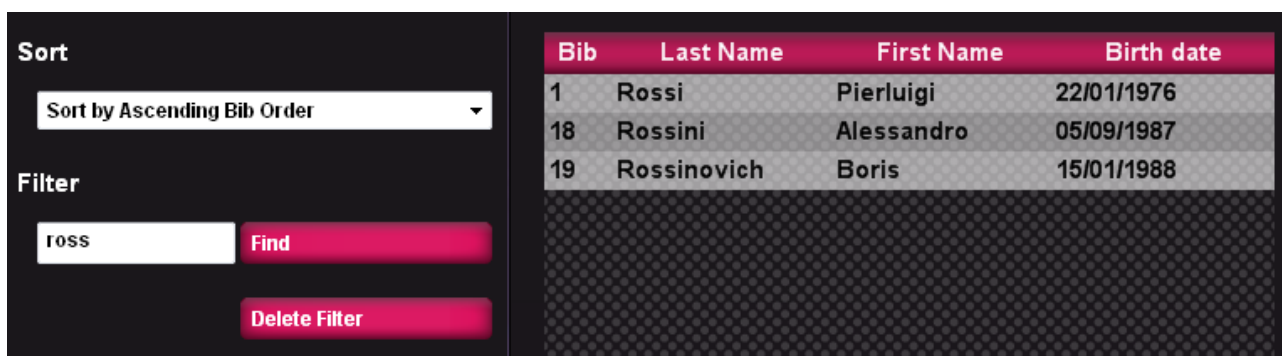
このセクションにすべてのアスリートが保存されておりそれらを表示することができます。アスリートの追加と編集をクリックするとアスリートリストが表示されます。

Sort		Bib	Last Name	First Name	Birth date
Sort by Ascending Bib Order		1	Rossi	Pierluigi	22/01/1976
		2	Smith	Kenneth	16/02/1974
		3	Blau	Tobias	28/08/1973
		4	Kaufmann	Erik	12/11/1976
		5	Gamache	Dominic	25/09/1972
		6	Espino	Cesario	20/12/1975
		7	Fierro	Carlos	02/05/1972
		8	Adler	Peter	05/04/1971
		9	Colombo	Ennio	02/09/1973
		10	Frost	Edward	21/05/1972
		11	Conti	Aldo	30/10/1974
		12	Rodarte	Victor	11/02/1977
		13	Mercier	Gustav	03/01/1975
		14	Ford	Ron	23/02/1969
		15	Brunelle	Nicolas	12/06/1973
		16	Della Vedova	Mario	14/05/1989
		18	Rossini	Alessandro	05/09/1987
		19	Rossinovich	Boris	15/01/1988


「並び替え」のドロップダウンメニューからアスリートリストの表示の仕方を選ぶことができます（作成した日時、背番号、氏名の昇順ト降順から選びます）。



特定の個人を探したい時、または絞り込みを行う（例えば山から始まる全ての選手）には、フィルターの一の空欄に手掛かりとなる文字を入力し、<検索>をクリックしてください。元に戻すには<フィルター解除>をクリックします。



<新規アスリート>をクリックすると新しいパネルが開き、新たなアスリートを登録することができます。性だけは必須項目となっています。背番号が最も重要な項目です。Witty タイマーで選手を選び同定するにはこれが必要となります。

Last Name	Rossi
First Name	Pierluigi
Birth date	22/01/1976
Sex	<input checked="" type="radio"/> Male <input type="radio"/> Female
Weight [Kg]	69
Height [cm]	178
Foot	44
ID	AA14
Bib	1
Sport	
Discipline	
Level	Amatore
Role	
School	AS SAD Bolzano
Notes	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce fermentum aliquet ligula, in adipiscing orci semper nec. Ut nunc tortor, sodales id lobortis sed, euismod eu lacus.
Picture	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>FROM FILE</span> <span>FROM WEBCAM</span> </div>

Save

Save & New

Cancel

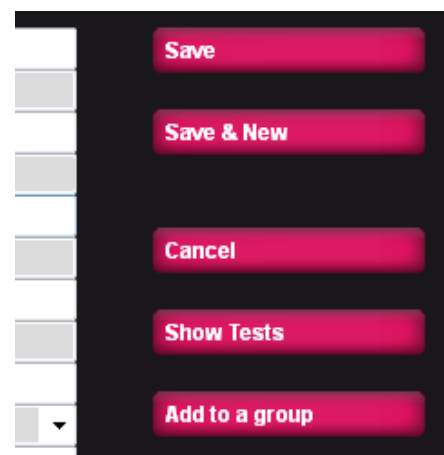
Show Tests

Add to a group

選手の写真を登録しておくに非常に役立ちます。特に多人数の選手やクライアントを指導するコーチやトレーナーの方は是非写真を登録することをお勧めします。

「ファイルから選択」を選んで、すでにパソコンに保存されたファイル（.jpg フォーマットと.bmp フォーマット）を指定するか、「ビデオから取り込み」を選んでパソコンの Web カメラで撮影します。Witty タイマーで良く分かるようにするため、画面いっぱいの写真を指定するか、そのように撮影することをお勧めします。

生年月日の欄には、最初に月を 2 桁で入れてエンターで確定し、次に日を 2 桁で入れて確定し、最後に西暦年を入れてエンターで確定してください。リストには年/月/日の順で表示されます。



### 3.1.1.1 アスリート情報

選手情報を編集するにはリストからアスリートの行を選択して、<アスリートを編集>をクリックします。選手情報を変更もしくは追加したら、<保存>で確定するか<キャンセル>してリストに戻ってください。

選手が既に実施したテストをすぐに表示するには、<テストを表示>をクリックしてください（ソフトウェアは 3.3 で詳述するような自動フィルターを使ってこの他にも選手のテストに素早くアクセスすることが可能です）。

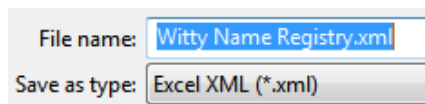
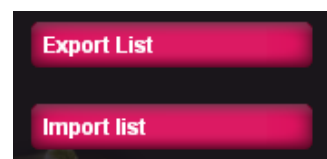
リストに戻って、アスリートを選択すると、<アスリートの削除>から既に登録したアスリートを削除することができます（ご注意：いったん削除するとそのアスリートの全情報が消去され元に戻すことができませんのでご注意ください）。

グループにアスリートを所属させるには、リストからアスリートを選択してから、<グループに追加>をクリックしてください。次にそのアスリートを所属させたいグループを選択して（サブグループがある場合はサブグループを選択）もう一度<グループに追加>をクリックします。<戻る>でアスリートリストに戻ります。

グループの管理やアスリートのグループへの所属のさせ方の詳細については 3.1.3 をお読みください。

### 3.1.1.2 エクセルを用いた個人情報のインポートとエクスポート

Witty マネージャーに登録した選手の個人情報はエクセル互換性のあるフォーマット（XML スプレッドシート 2003）でエクスポートすることができます。<リストをエクスポート>をクリックして名前を保存先を決めて下さい。ダブルクリックすれば Microsoft Excel で開くことができます。うまく開かない場合は右クリックして、「プログラムから開く」を選択し XML エディターを選んでください。その後エクセル形式で保存すれば以後エクセルから直接開くことができます。



他のソフトウェアで作成されたアスリートリストをお持ちなら、エクスポートファイルと同じ形式のエクセルファイルを用意することで Witty マネージャーにインポートすることが可能です。エクスポートファイルと同じ形式にするにはエクスポートされる XML スプレッドシートを参考にして全く同じ列名の構成にして、エクセルファイルを XML スプレッドシート 2003 形式で保存してください。

これらの互換性をスムーズに行うためには、一度空のデータベースをエクスポートし、それをテンプレートとして必要事項を埋めて行くことをお勧めします。生年月日は YYYY/MM/DD にしてください。また性別は M と F で記入してください。スポーツと種目はドロップダウンメニューと同じものしか受け付けませんのでご注意ください。エラーがある場合はインポートの最終局面で表示されます（もしエラーが表示されずにインポートが行われた場合エラーのある個所は空白となります）。

### 3.1.2 スタートリスト

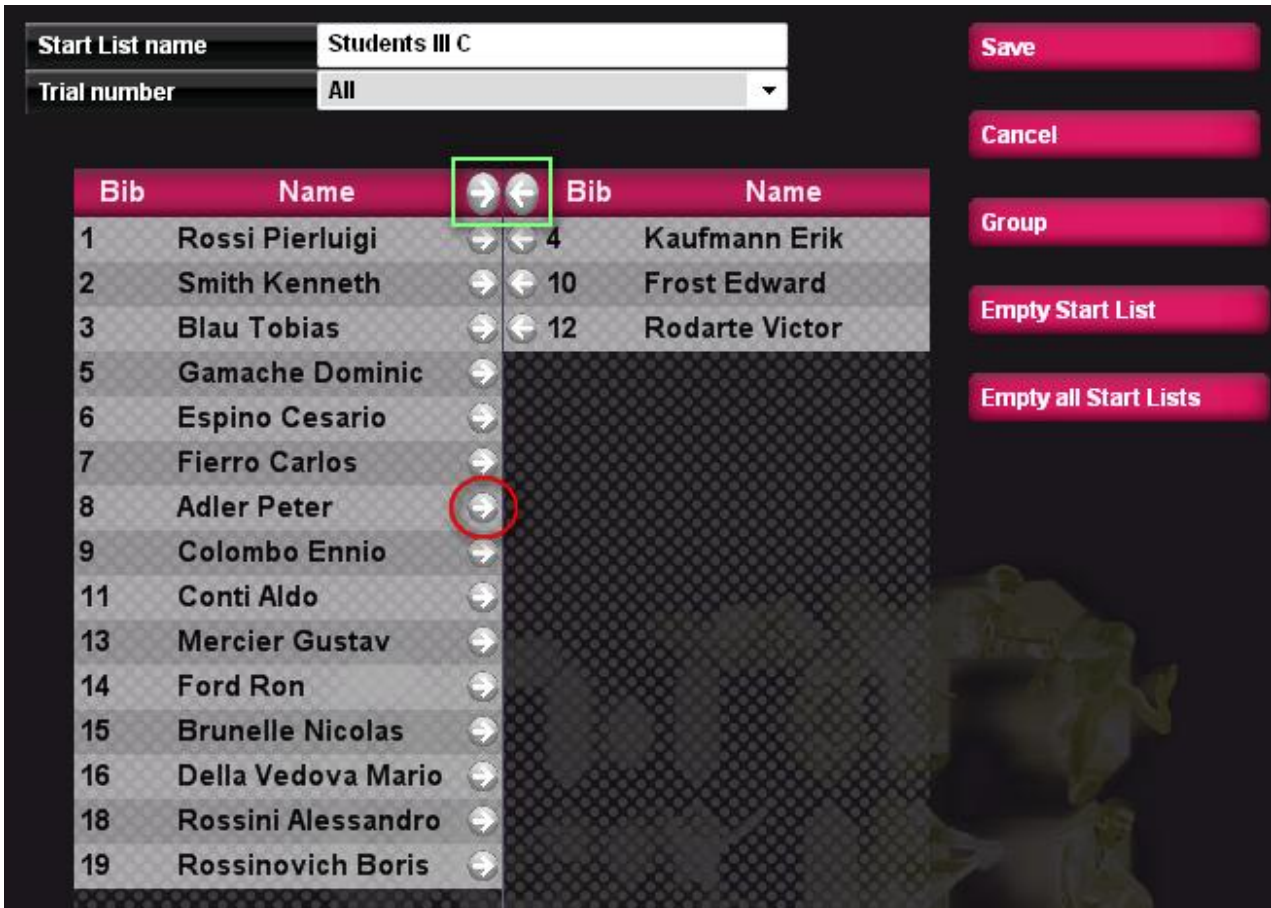
スタートリストを作成するには 2 つの目的があります。1 つは、背番号の自然な数字の順番とは異なる順序で選手をスタートさせるためです（1,2,3,4 ...ではなく、2,5,7,3,1,14,というように）。

もう一つは、登録されている全選手の中から測定する選手のグループをあらかじめ作っておくためです。これについて具体例で説明しましょう。例えばいくつものクラスを持つ体育教師が全生徒のデータベースをアスリートのデータベースで行うことができますが、スタートリストはクラスごとに作っておくことができます。それにより、クラスレベルで測定をするときにはリストを選んでそのクラスの生徒だけを Witty タイマーで表示することができます。

このように全選手を対象としてスタートリストを作成することもできますが、新たに作成したサブグループをベースにしてつくることも可能です（3.1.3 参照）

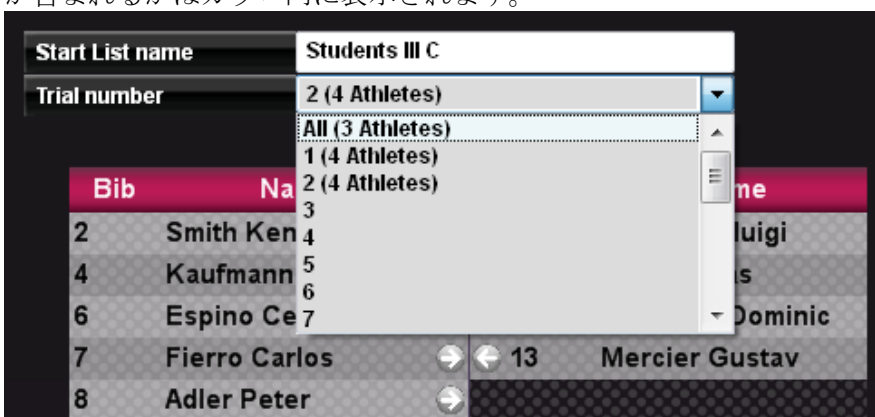
### 3.1.2.1 新しいスタートリストの作成

<アスリート>の<スタートリスト>から<新規>を選びスタートリストの名前を付けます。そしてスタートリストに含める選手を左側のアスリートリストからスタートさせたい順に矢印をクリックして（下図の赤い丸）選びます。全選手を選ぶにはリスト上部の矢印（緑色）をクリックします。スタートリストから元に戻すためには同様に左向きの矢印をクリックしてください（1人ずつまたはまとめて）。グループから選ぶ場合には<グループ>をクリックして左側のリストにグループのアスリートを表示して行ってください。



リストは「トライアル」に分けることができます。これはスタートリストをいくつかのグループに分けるために利用します。これにより、同じグループ内でテストの内容や意味によっていくつかの異なるメンバーや順序でのリストを作ることができます。

トライアル番号のドロップダウンメニューを用いて必要なメンバーを選択してください（何名の選手が含まれるかはカッコ内に表示されます）。



リストからトライアルを削除したい場合は<スタートリストを削除>をクリックしてください。全てのトライアルを削除するには<全てのスタートリストを削除>をクリックしてください。

<グループ>ボタンを使用すると、グループに所属する選手リストを表示させることができますので、それによってスタートリストを作成することができます。

<グループ>ボタンをクリックして希望するグループを選びます（例えばサッカー部のミッドフィールダー）。すると構成メンバーが表示されますので一人ずつ選ぶか全員を選ぶ場合は<全て選択>します。<OK>で保存します。するとこの選手がリストに選ばれます。and its components appear; select them one by one by using the checkbox next to the name or, if you want them all, click <Select Group>. Once you have selected the athletes, click <Confirm>: you will see that the same 3 athletes are filtered in the list creation form. Since you can choose athletes from more than one group, it is possible that athletes from previous filters remain selected. We recommend that you always <Deselect All> to be sure to start with a blank filter, and then select the required group.

The screenshot shows the 'ATHLETES' section of the software. On the right, a list of positions is shown: Goalkeeper, Defender, Midfield, and Attacker. The 'Midfield' position is selected. Below this, a table lists the members of the 'ATHLETES / Football / Midfield' group:

Bib	Last Name	First Name	Picture
<input checked="" type="checkbox"/>	4 Kaufmann	Erik	
<input checked="" type="checkbox"/>	10 Frost	Edward	
<input checked="" type="checkbox"/>	12 Rodarte	Victor	

Below the table, there are input fields for 'Start List name' (Students III C) and 'Trial number' (All). At the bottom, there is a transfer table:

Bib	Name	Transfer	Bib	Name
4	Kaufmann Erik	→		
10	Frost Edward	→		
12	Rodarte Victor	→		

### 3.1.3 グループの作成と管理

グループとそのサブグループを作成することにより、選手の管理が非常に効率よく行えるようになります。サブグループの数は無制限です。



Members of ATHLETES / Football / Defender			
Bib	Last Name	First Name	Picture
1	Rossi	Pierluigi	
4	Kaufmann	Erik	
9	Colombo	Ennio	
11	Conti	Aldo	
12	Rodarte	Victor	

「アスリート」というグループが大元のグループとなり、全ての選手はこの中に所属し、この下位にサブグループを作成していきます。

サブグループを作成するには、上位グループのアイコンを選択した上で（白く反転します）、<新規グループ>をクリックします。例えば「ラグビー部」というグループを「アスリート」の下位に作りたのであれば、まず「アスリート」を選択してから<新規グループ>をクリックしてください。同様に、作成した「ラグビー部」の下に「フォワード」というさらに下位グループを作るには、「ラグビー部」を選んでから<新規グループ>をクリックします。

この段階では新しく作ったグループにはまだ選手は所属していません。選手を所属させると、各グループをクリックするとそのグループの上位グループとの関係と含まれる選手が表示されるようになります。

各グループに選手を所属させるには下に示したようないくつかの方法があります。

- 1) 新たに選手を所属させたいグループを選んでから、<グループに追加>をクリックします。すると「アスリート」リストが表示されますので、所属させたい選手のチェックマークを付け<OK>を押します。<全て選択>と<全ての選択を削除>を利用して素早く操作することが可能です。スタートリストをすでに作成している場合は（ 3.1.2 参照）このリストを使うことも可能です。  
you will be able to choose the list and select the athletes that are on the list. <キャンセル>を押すと何もせずにこのセクションが出ます。
- 2) 「アスリート」グループ（全選手が所属する）から選手を選んでドラッグ&ドロップで移動させたいグループに移します。[完了] というメッセージが表示されたら<OK>で確定します。複数の選手を同時に移動させるには「範囲指定」と「非連続指定」の 2 通りの方法があります。  
1 人の選手を選んで別の選手を **SHIFT** を押しながら選ぶとその間に挟まれた選手が全て選択されます。または、**CTRL** キーを押しながら選手を選んでいくと、隣り合わせでない選手でも選ぶことができます（下図参照）。
- 3) アスリートリストから、選手を選び、<グループに追加>を押して所属させたいグループを選びもう一度<グループに追加>をクリックします。<戻る>でアスリートリストに戻ります。
- 4) アスリートの個人情報を開いた状態から、<グループ追加>を指定することもできます。全てのグループが画面左側に現れますので、チェックボックスにチェックを入れて<保存>します。

Members of ATHLETES		
Bib	Last Name	First Name
1	Rossi	Pierluigi
2	Smith	Kenneth
3	Blau	Tobias
4	Kaufmann	Erik
5	Gamache	Dominic
6	Espino	Cesario
7	Fierro	Carlos
8	Adler	Peter
9	Colombo	Ennio

範囲指定：“Blau”を選んでから **SHIFT** を押しながら “Fierro”を押すとその間の選手が指定される。

Members of ATHLETES		
Bib	Last Name	First Name
1	Rossi	Pierluigi
2	Smith	Kenneth
3	Blau	Tobias
4	Kaufmann	Erik
5	Gamache	Dominic
6	Espino	Cesario
7	Fierro	Carlos
8	Adler	Peter
9	Colombo	Ennio

非連続指定: **CTRL** キーを押しながら選手の名前をクリックする。

リストからグループに“所属”させるだけではなく、あるグループに所属させた選手を他のグループに“移動”させることも可能です。これには 2 つの方法があります。

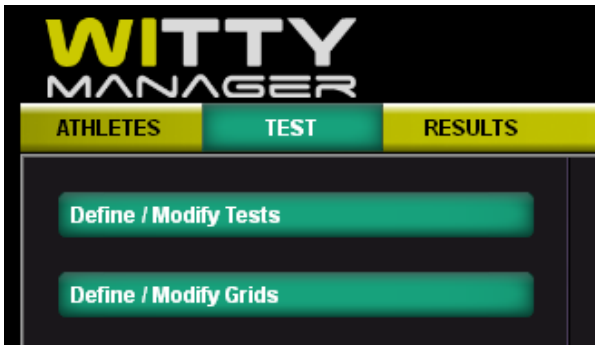
- 1) 移動させたい選手がいる移動元のグループをクリックし、移動させたい選手（個人または複数）を指定して<グループに移動>をクリックします。移動先のグループをクリックし、<移動を確認>をクリックするとそのグループに選手が移動します。<戻る>でアスリートの初期画面に戻ります。
- 2) 移動させたい選手のいるサブグループを開き、目的の選手をドラッグ&ドロップで別のサブグループに移動させます。「アスリート」グループからドラッグ&ドロップで別のグループに“所属”させるときは、グループにコピーさせるだけですが、サブグループ間のドラッグ&ドロップは“移動”となるため、元のグループからはなくなります。



<グループを削除>を押すと、そのグループとそのグループの下位にあるサブグループはなくなります（所属していた選手が削除されるわけではありません）。<グループを編集>はグループ名を変更するために使用します。

選手を指定してから<グループからの削除>をクリックすると、その選手がグループから削除されますが、データベースから削除されるわけではありません。選手が一人も指定されていない時と最も上位の「アスリート」が表示されている時にはこのボタンは使えません。

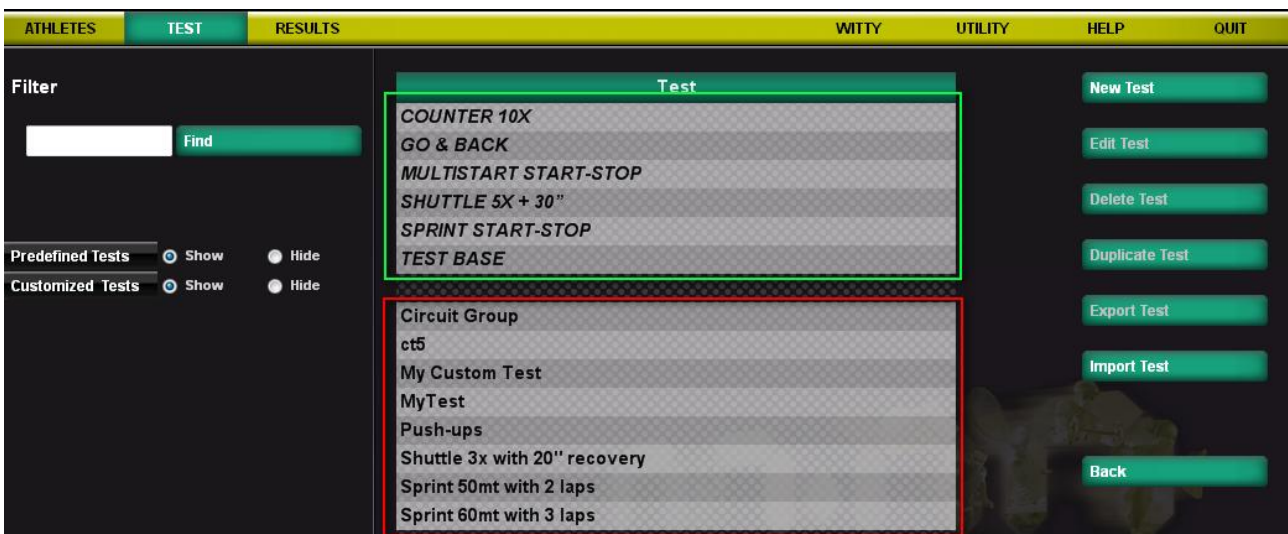
## 3.2 テスト



このセクションでは、オリジナルテストの作成と管理、およびグリッドと呼ばれる結果を見るためのテンプレート（テーブルやグラフのカスタマイズ）を作成し管理します。

### 3.2.1 テストの作成と編集

ここでは新しいテストを作成し管理します。またあらかじめ Microgate によって準備されているテストがどのように定義されているかを見ることがもできます。下図では上部（緑で囲まれた部分）に 6 種類のあらかじめ用意されているテストが、赤で囲まれた部分にはユーザーによって新たに作成されたテストが表示されています。



Press <新規テスト> から新しいテストの定義画面に入ります。  
テストの名称を入れた後、必要事項を決めてください。

テストタイプ、モード、トライアルの終了、ゲート通過回数等々の意味や指定方法については **Witty タイマーのマニュアル（4章）** をご覧ください。  
また、外部信号設定（**5.1.1.4.1**）や複数およびシングルゲートの距離設定（**5.1.1.4.3 and 5.1.1.4.4**）についても該当ページをご参照ください。

Name	My Custom Test	Apply
Test Type	Basic	Cancel
Mode	In line	Lines Configuration
End of Trial	Number of Impulses	Multiple Speed Base
Number of Impulses	1	Single Speed Base
Template	Simple Template	
Notes	Lorem Ipsum	

テスト作成テンプレートにはドロップダウンメニューから選択する箇所とグリッドの作成と編集にあるようにユーザーによって作成されるものがあります。テストのタイプによって見たいものを自由に設定することが可能です（例えば 50m スプリントテストであれば、途中で 2 つのラップを取ってそれらのスプリットタイムやラップタイムを表示させる等）。

外部入力設定の変数を定義した時および、複数ゲートまたはシングルゲートの距離設定をした時は必ず<保存>を押してテストを保存するように指定ください。

テストのリスト上でマウスをテスト名上に重ねると、それぞれのテストの定義内容を見ることができます。テストを指定してから画面右のボタンをクリックしてテストの編集、削除、コピー、エクスポート及びインポートを行うことができます。

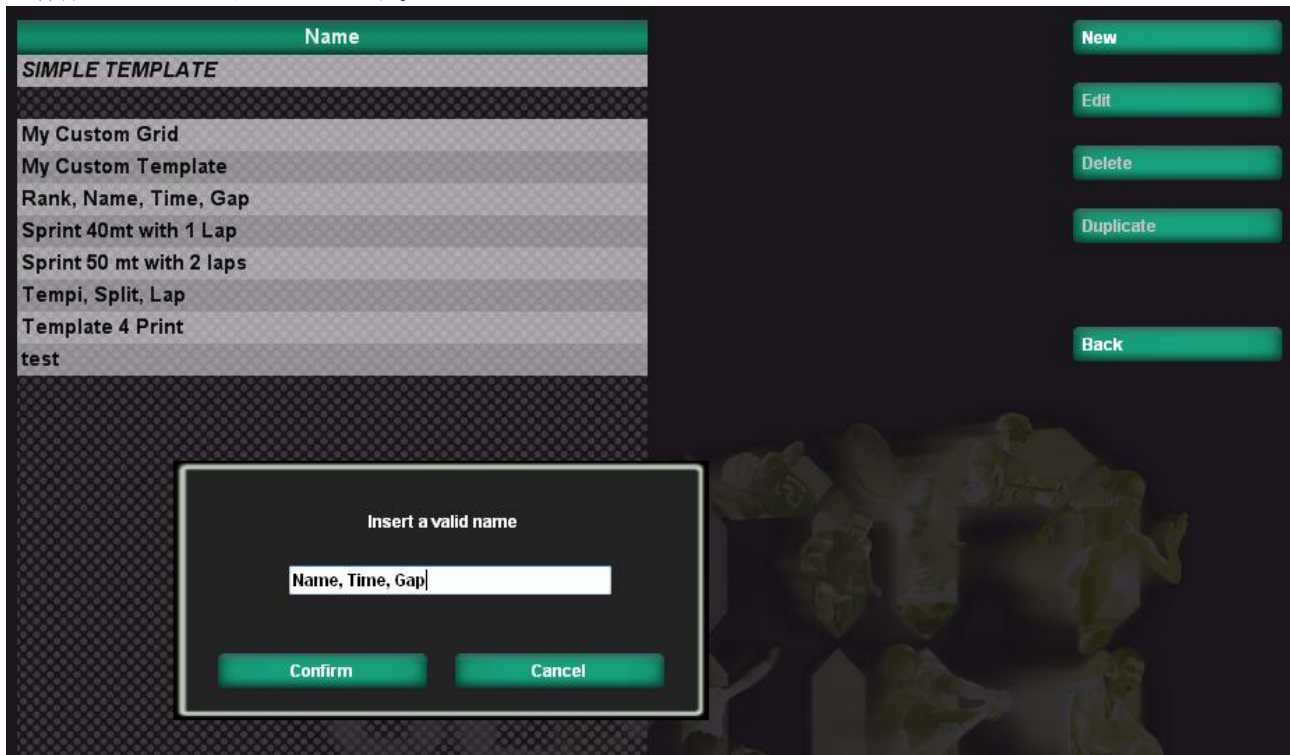
**ご注意:**テストを削除すると、そのテストで実施した全ての結果も削除されます。

Test		New Test
COUNTER 10X		Edit Test
GO & BACK		Delete Test
MULTISTART START-STOP		Duplicate Test
SHUTTLE 5X + 30"		Export Test
SPRINT START-STOP		Import Test
TEST BASE		Back
Circuit Group		
ct5		
My Custom Test		
MyTest	Name	My Custom Test
Push-ups	Test Type	Basic
Shuttle 3x with 20	Mode	In line
Sprint 50mt with 2	End of Trial	Number of Impulses
Sprint 60mt with 3	Number of Impulses	1
	Template	Simple Template
	Notes	Lorem Ipsum

### 3.2.2 グリッドの作成と編集

この機能は Witty タイマーで測定した結果を Witty マネージャーで見るときのテンプレートを作成するためのものです。どの列にどんな順序でどの測定項目を表示させるか、項目にどんな名前を付けるか、グラフはどのように作成するか（表示する項目と棒グラフや折れ線グラフ等の表示形式）を決めることができます。

リストには上段にあらかじめ作成されているものがイタリックで示されています。下の段にユーザーが作成したものが表示されます。



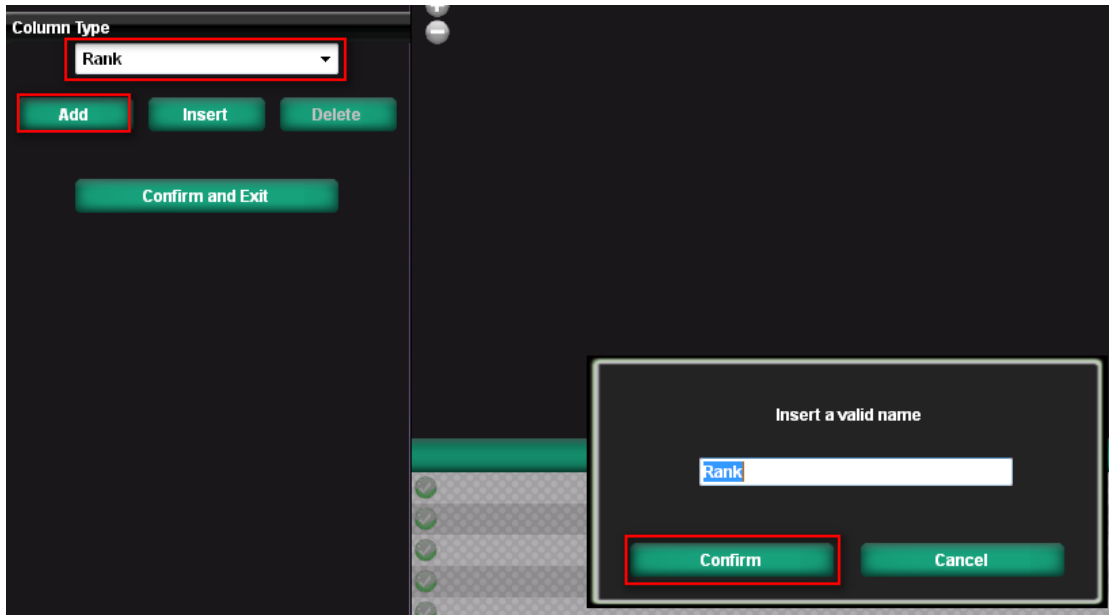
新しいグリッドを作成するには、<新規作成>をクリックして名前を付け<OK>を押します。空白のグリッドが開きますので、ここに必要な列を入れてテンプレートを作っていきます。

次のような内容の変数を列にすることができます（カッコ内は名称例）。

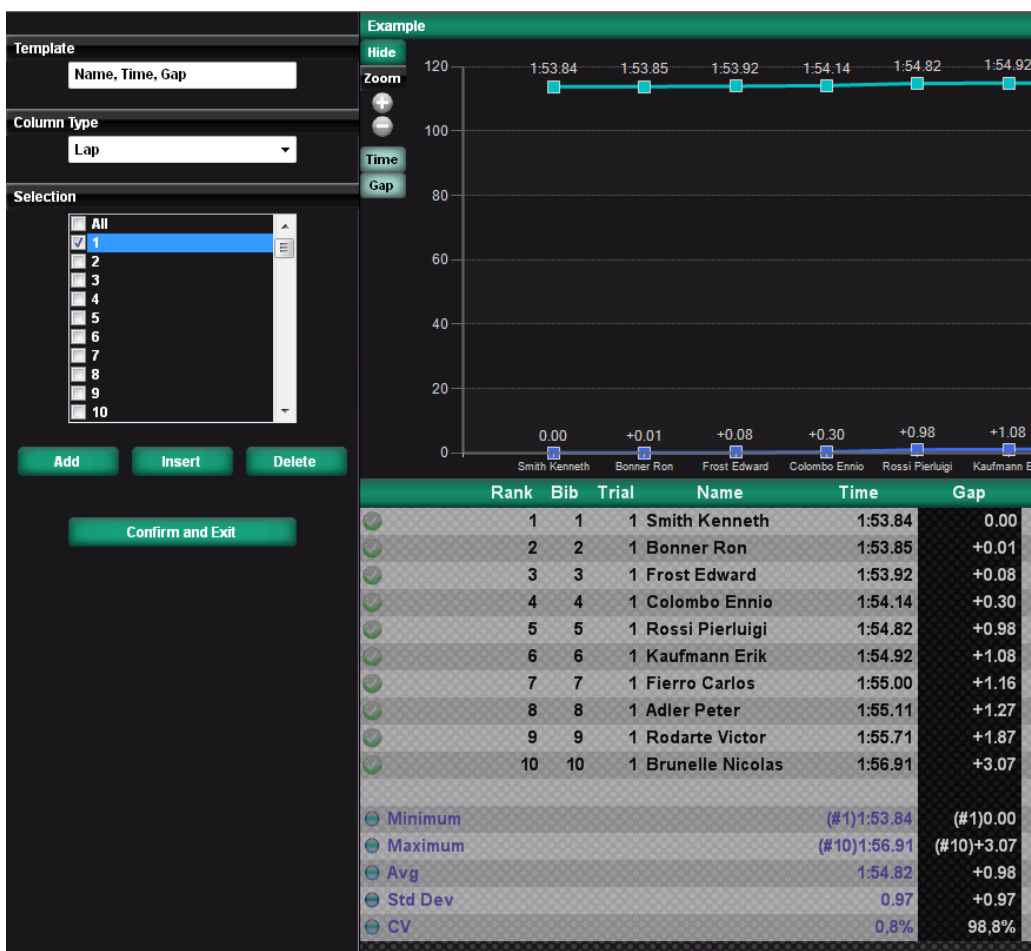
- ランキングの順位（ランキング）
- 選手の背番号（背番号）
- 試行番号（トライアル）
- 選手の名前（名前）
- 測定日時（測定日）
- タイム（時間）
- ある選手と他の選手との距離差（ギャップ）
- ラップ 1（L1）
- スピード（スピード）
- 等々
- 

こうした変数を列に入れるには次のようにします。

ドロップダウンメニューから、1 つずつ必要な項目を選んで<追加>を押し、名前を付け<OK>で確定します。



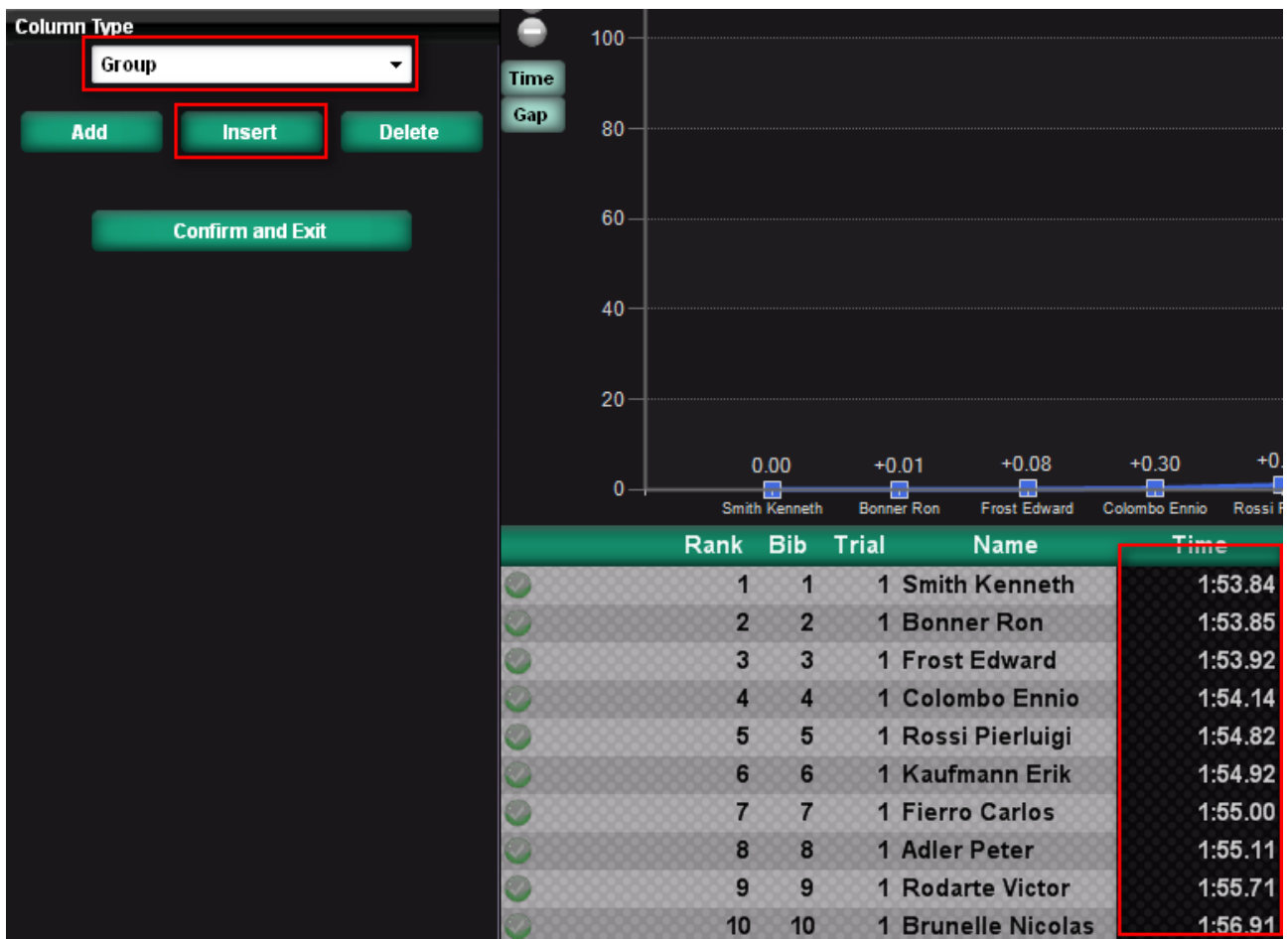
選んだ項目を列に加えると、データ例を使ってテーブルとグラフが表示されます。



いくつかの項目では（ラップ、スプリット、ラップスピード、スプリットスピード、ギャップタイム）、どの部分を見たいかによって、番号を選ぶ必要があります（例えば 3 箇所ですラップを取った場合、全てを表示することもできるしそのうちのどこかだけに絞ることもできます）。

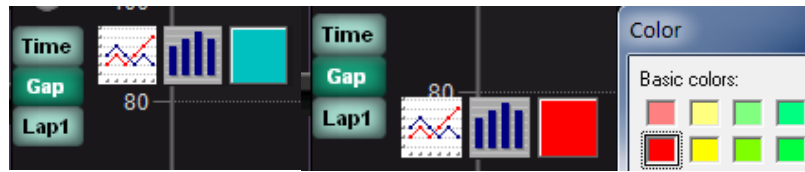
すでに列を追加作成した後で、それよりも左側に別の項目を入れたい場合や、ふたつの列の間に別の項目を入れたい場合は入れたい列の 1 つ後ろを選択しておいてから、ドロップダウンメニューにより必要項目を選んで、<挿入>をクリックしてください。不要な列を削除するには、列を選んで<削除>を押します。"列の移動"とか"名前の変更"はできませんので、移動や変更が必要な場合は、全て上で説明した方法で最初かやり直してください。

列挿入の例: 「グループ」という列を「名前」と「時間」の間に入れたい場合、入れたい列の後ろに来る「時間」を選択し（黒くなる）、ドロップダウンメニューからグループを選んで、<挿入>をクリック。



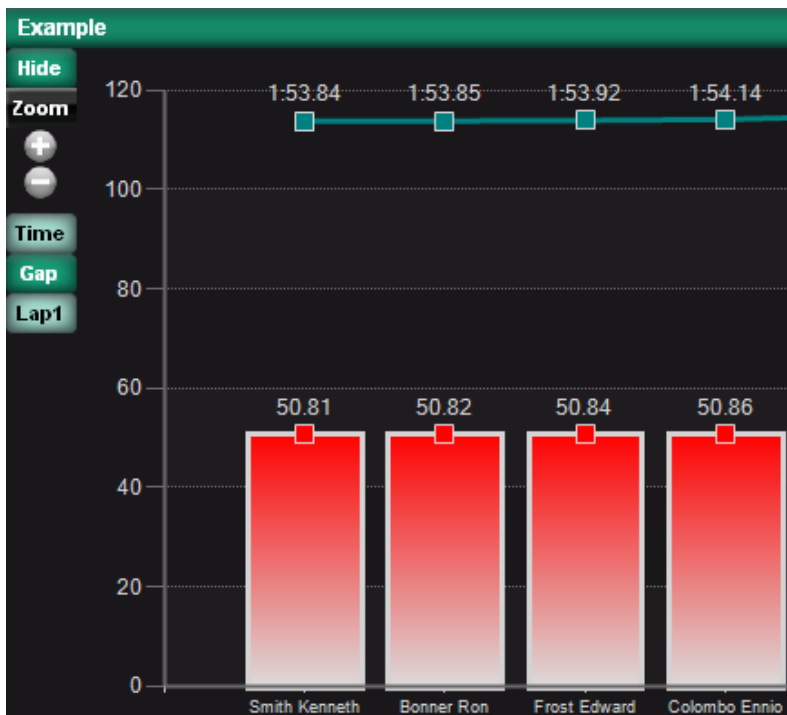
Rank	Bib	Trial	Name	Time
1	1	1	Smith Kenneth	1:53.84
2	2	1	Bonner Ron	1:53.85
3	3	1	Frost Edward	1:53.92
4	4	1	Colombo Ennio	1:54.14
5	5	1	Rossi Pierluigi	1:54.82
6	6	1	Kaufmann Erik	1:54.92
7	7	1	Fierro Carlos	1:55.00
8	8	1	Adler Peter	1:55.11
9	9	1	Rodarte Victor	1:55.71
10	10	1	Brunelle Nicolas	1:56.91

グラフは、折れ線とバーから選ぶことができ、色も指定できます。

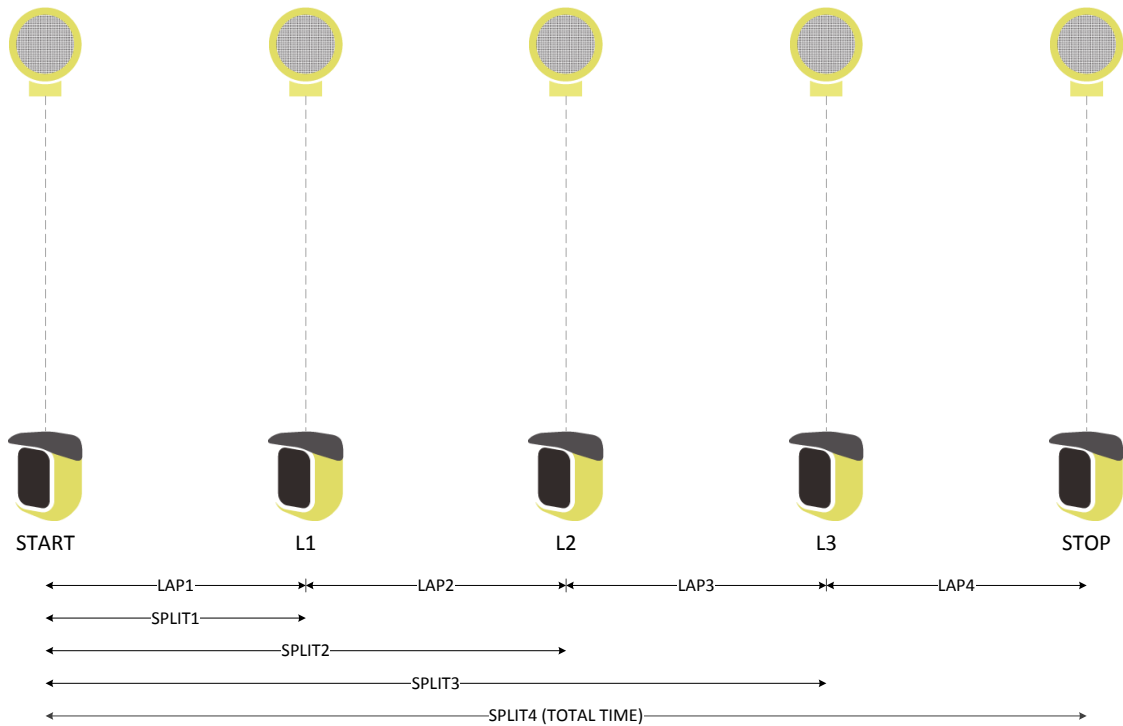


- グラフへの表示と非表示は各ラベルをクリックして切り替えます（グラフ上に表示されるグラフのラベルの色は薄くなります）。
- 表示されるグラフのラベル上にマウスを置くと、折れ線かバーかを選択するアイコンが現れますから、どちらかを選んでください。
- ラベル横の四角形をクリックすると色を変更できます。

例: ギャップという列が不要で、時間を緑色の折れ線で指定し、ラップ 1 を赤のバーで指定したとすると下図のようになります。



中間タイムについては、ラップとスプリットを混同しないようにしてください。  
 スプリットというのは、スタートからの経過時間であり、ラップというのは、個々のゲート間タイムを意味します。



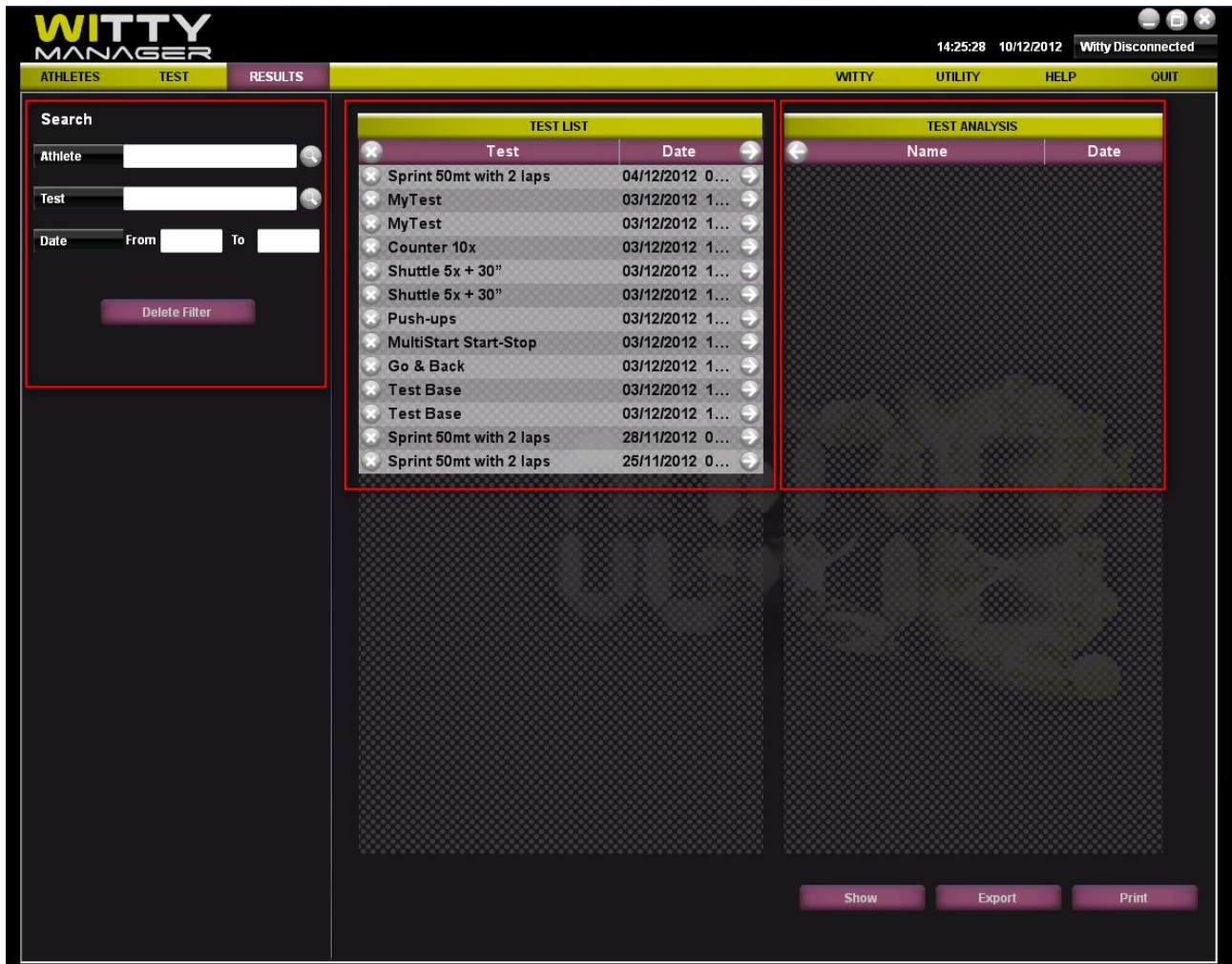
全ての列とグラフの設定が終了したら、<適用して終了>をクリックして保存します。



### 3.3 結果

このセクションでは、テスト（トライアル）の結果が表示されます。結果の画面は 3 つのウィンドウに分かれています。左から右へ：

- 検索： さまざまな手掛かりとなる変数を用いて必要なテストを探します。
- テスト一覧： 実施した全てのテストが含まれますが、フィルターを掛けた場合はそれ以外のものは表示されません。
- テスト分析： このウィンドウには、結果を見たり印刷したりエクスポートするために選択したテストが入ります。



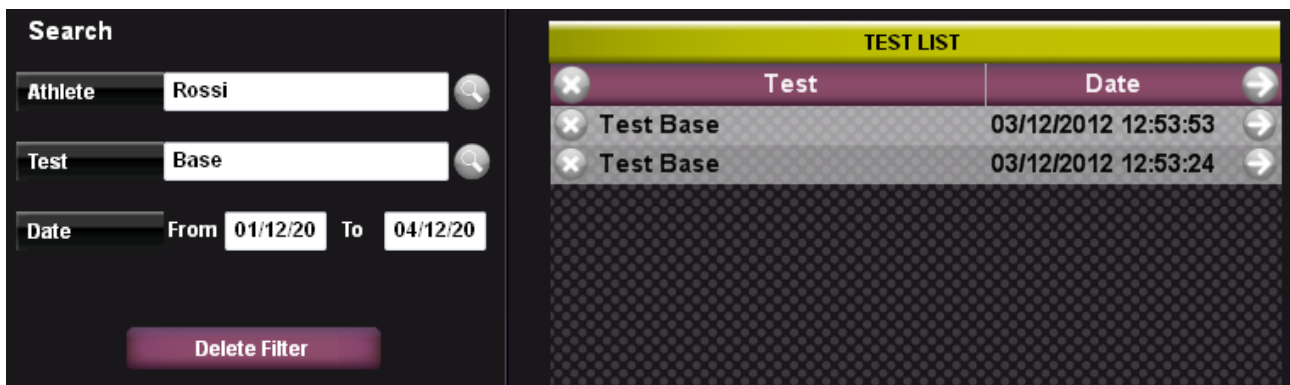
The screenshot shows the WITTY MANAGER interface with the following components:

- Search Panel (Left):** Contains input fields for Athlete, Test, and Date (From/To), along with a "Delete Filter" button.
- TEST LIST (Middle):** A table listing tests and their dates.
 

Test	Date
✖ Sprint 50mt with 2 laps	04/12/2012 0...
✖ MyTest	03/12/2012 1...
✖ MyTest	03/12/2012 1...
✖ Counter 10x	03/12/2012 1...
✖ Shuttle 5x + 30"	03/12/2012 1...
✖ Shuttle 5x + 30"	03/12/2012 1...
✖ Push-ups	03/12/2012 1...
✖ MultiStart Start-Stop	03/12/2012 1...
✖ Go & Back	03/12/2012 1...
✖ Test Base	03/12/2012 1...
✖ Test Base	03/12/2012 1...
✖ Sprint 50mt with 2 laps	28/11/2012 0...
✖ Sprint 50mt with 2 laps	25/11/2012 0...
- TEST ANALYSIS (Right):** A table with columns for Name and Date, currently empty.
- Bottom Panel:** Contains "Show", "Export", and "Print" buttons.

## フィルターパネル

選手やテストを検索するには、検索ボックスにキーワードを手入力します（例えばアスリーの検索ボックスに「山田」、テストの検索ボックスに「シンプルテスト」と入力）。または、🔍マークをクリックしてテスト一覧を表示させその中から選ぶこともできます。同様にカレンダーからテストを実施した日を範囲指定することも可能です。フィルターを解除して全てのテスト一覧に戻るには<フィルターの削除>をクリックしてください。



The screenshot shows the 'Search' panel on the left and the 'TEST LIST' on the right. The search panel includes fields for 'Athlete' (Rossi), 'Test' (Base), and 'Date' (From 01/12/20 To 04/12/20), along with a 'Delete Filter' button. The test list displays two entries:

Test	Date
Test Base	03/12/2012 12:53:53
Test Base	03/12/2012 12:53:24

## テスト一覧



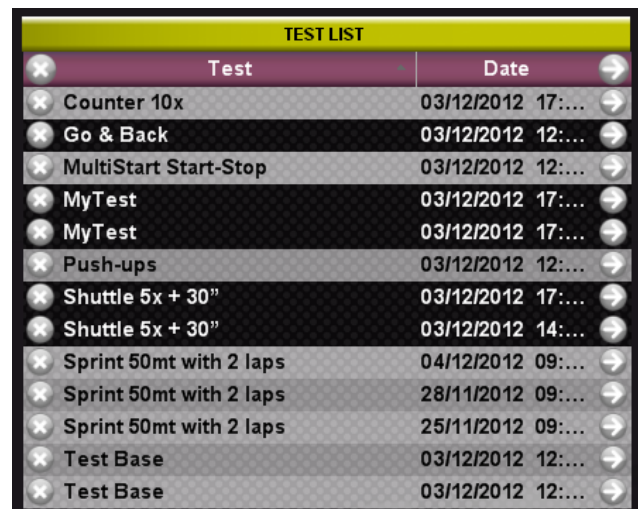
テストと日付をクリックするとそれぞれ昇順、降順で並べ替え、もう一度クリックすると逆向きに並べ替えます。

テストを削除するには、**x**マークをクリックしてください。全てのテストを削除するには、一覧の最上段の**x**マークをクリックしてください。



分析したいテストの**→**マークをクリックすると（またはテストの行をダブルクリック）、右側のテスト分析リストに移動し、テスト一覧はそのタイプのテストで自動的にフィルターが掛けられます（例えば、「シンプルテスト」を選ぶと、テスト一覧には、「ベーシック」の「リニア」テストだけが表示されます。また、例えば「マルチ」と名付けられた複数スタートのテストを選ぶと「マルチスタート」タイプのテストだけが表示されます）。

テスト一覧に表示されている全てのテストをテスト分析に移動させるには、一番上の行の**→**をクリックします。

複数のテストを同時に選択するには **SHIFT** キーを使って範囲指定するか、**CTRL** キーを押しながら複数のテストを選んで最上段の**→**マークをクリックしてください。選択したテストだけが移動します。この状態で最上段の**x**を押すと、選択したテストが全て削除されます（複数選択の詳細な方法は、3.1.3 を参照してください）。








## テスト分析

1 つのテストを見るには、テスト分析テーブルに表示されているテストをダブルクリックします。テスト分析から削除するにはテストの左側の  をクリックします。テスト分析ウインドウにある全てのテストを削除するには最上段の  を押してください。

データのエクスポートは、テスト分析テーブルに少なくとも 1 つ以上のテストを入れて、<エクスポート>をクリックします。Excel 形式か、データベース形式 (.sdf) かの確認画面がでますので、チェックマークを付けて選択し、任意の保存場所にエクスポートしてください。データベース形式でエクスポートすると、選択したテストの選手だけの小さなサイズのデータベースを作ることができます（例えば特定の選手のテスト結果だけをまとめてエクスポートしその選手のデータベースを作る）。

<印刷>をクリックするとテスト分析テーブルに含まれるテストのレポートが PDF 形式で作成されます。保存先のフォルダーを指定して実行してください。

TEST ANALYSIS		
	Name	Date
	Test Base	03/12/2012 12:5 ...
	MyTest	03/12/2012 17:5 ...
	MyTest	03/12/2012 17:5 ...
	Test Base	03/12/2012 12:5 ...

## 表示

<表示>によって、選択したテストの数値テーブルとグラフを見ることができます。左側のテスト一覧から右側のテスト分析テーブルにテストを移動させた後、それぞれをダブルクリックするとそのテストを見ることができます。それに対して、個々のテストを見るのではなく、テスト分析にある全てのテスト結果をまとめて見たい時には、<表示>をクリックしてください。

データを比較するためにはテスト内容に一貫性がないと意味がありませんから、同じタイプのテストを選ぶことが重要です（距離、中間地点の数とラップ間距離など）。

The screenshot shows the WITTY MANAGER software interface. The top navigation bar includes 'ATHLETES', 'TEST', 'RESULTS', 'WITTY', 'UTILITY', 'HELP', and 'QUIT'. The 'RESULTS' tab is active.

On the left, there is a 'Search' panel with input fields for 'Athlete', 'Test', and 'Date' (From and To), along with a 'Delete Filter' button.

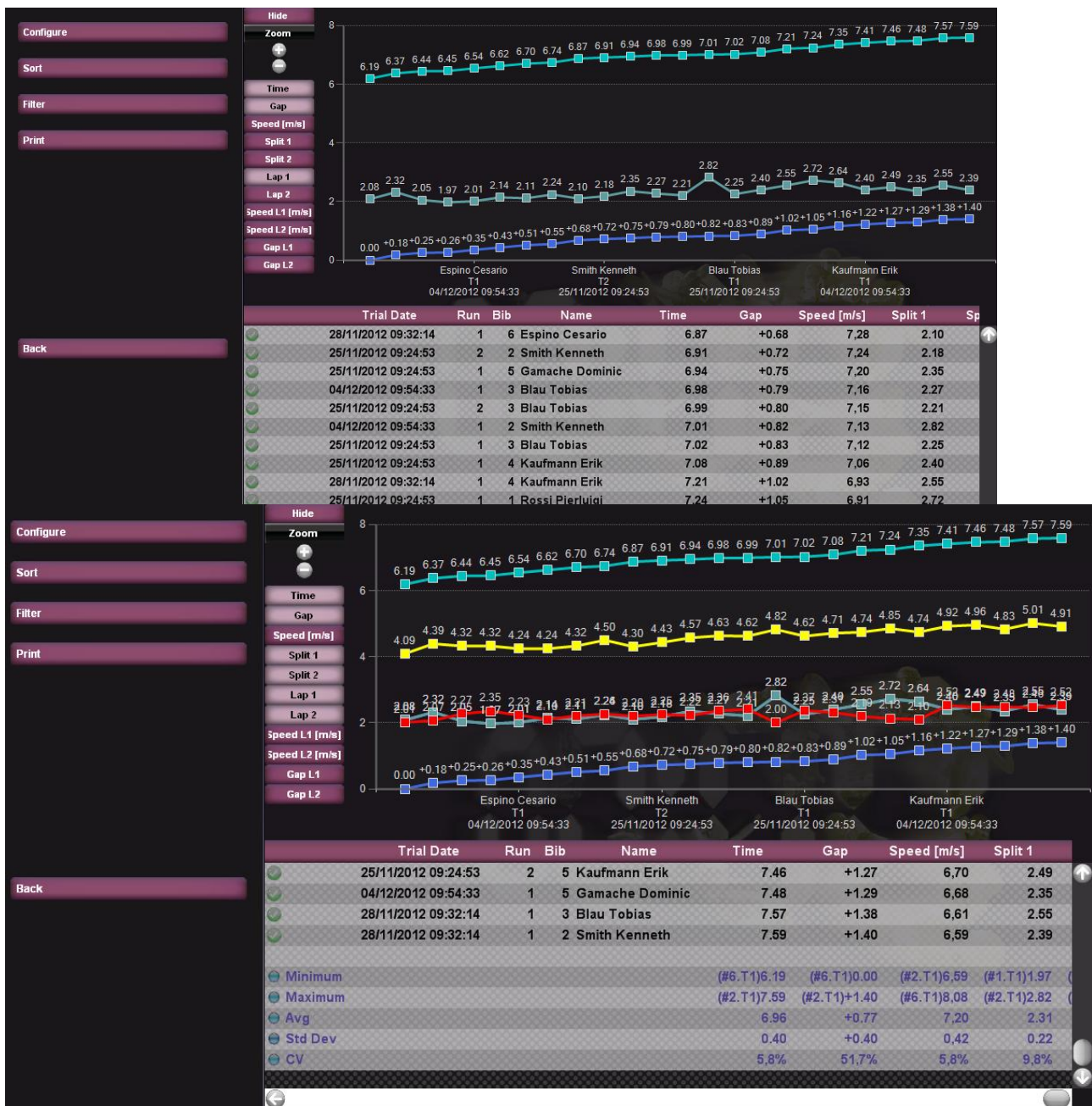
The main area is divided into two tables:

- TEST LIST:** A table with columns 'Test' and 'Date'. It lists various tests such as 'MyTest', 'Counter 10x', 'Shuttle 5x + 30"', 'Push-ups', 'MultiStart Start-Stop', 'Go & Back', and 'Test Base'.
- TEST ANALYSIS:** A table with columns 'Name' and 'Date'. It shows analysis results for 'Sprint 50mt with 2 laps' on different dates.

At the bottom, there are three buttons: 'Show', 'Export', and 'Print'. The 'Show' button is highlighted with a red box.

TEST LIST		TEST ANALYSIS	
Test	Date	Name	Date
MyTest	03/12/20...	Sprint 50mt with 2 laps	04/12/20...
MyTest	03/12/20...	Sprint 50mt with 2 laps	28/11/20...
Counter 10x	03/12/20...	Sprint 50mt with 2 laps	25/11/20...
Shuttle 5x + 30"	03/12/20...		
Shuttle 5x + 30"	03/12/20...		
Push-ups	03/12/20...		
MultiStart Start-Stop	03/12/20...		
Go & Back	03/12/20...		
Test Base	03/12/20...		
Test Base	03/12/20...		

1 個以上のテストを表示すると以下ようになります。

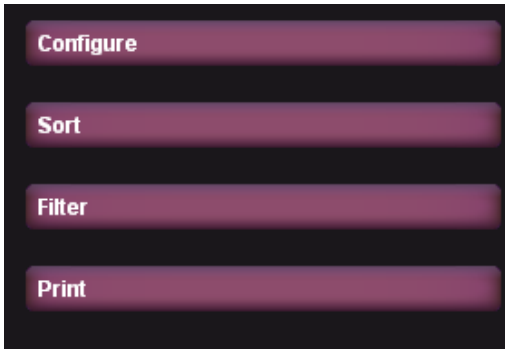


この画面は 3 つのエリアに分かれています。

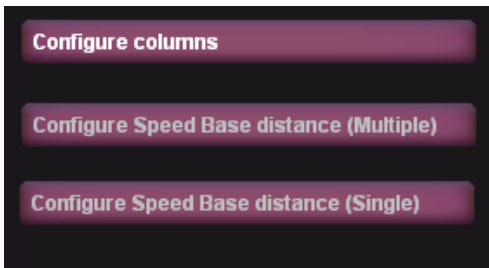
- 左側の設定パネル
- グラフエリア
- 数値データテーブル

### 3.3.1 設定パネル

グラフと数値テーブルを設定するパネルです。表示の設定、並び替え、フィルターおよびレポートの印刷という4つの機能があります。



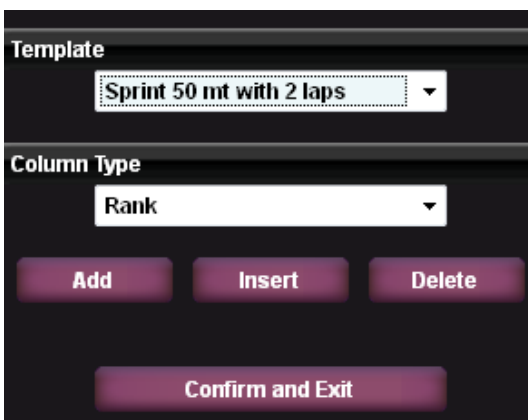
#### 3.3.1.1 表示の設定



#### 列の設定

<表示の設定>をクリックすると<列の設定>というメニューが開きます。このメニューからデフォルトで設定されている Simple Template 以外に、グリッドの作成と編集 (3.2.2) で独自に作成したテンプレートを用いて結果を表示させることができます。ドップダウンメニューから希望のテンプレートを選択してください。

またさらに、Simple Template 以外であればテンプレートを作成した時と同じ要領で、<列のタイプ>欄のトップダウンメニューから追加または挿入したい項目を選び、新たに追加、挿入することがかろうです。不必要となった項目は列から削除することもできます。グラフの表示/非表示や種類と色もここで変更可能です。



### 光電管間の距離の設定（複数）

新規テストの作成時と同様に、スピードを計算するためのシングルまたは複数光電管の距離を確認または変更することができます（トータル距離だけでなく、各ゲート間距離も）。

<追加>と<削除>をクリックして必要なゲート間を設定し、ボックスに数値を入れ、<適用して終了>すると、スピードが計算され、スピードの列に結果が表示されます。

<削除>は常に最後の（一番下の）ものだけが削除されカーソルのあるものではないことにご注意ください。

Name	Time	Gap	Speed [m/s]	Lap 1	Lap 2	Speed L1 [m/s]	Speed L2 [m/s]
Espino Cesario	6.19	0.00	8,08	2.08	2.01	4,81	7,46
Smith Kenneth	6.37	+0.18	7,85	2.32	2.07	4,31	7,25
Rossi Pierluigi	6.44	+0.25	7,76	2.05	2.27	4,88	6,61
Espino Cesario	6.74	+0.55	7,42	2.24	2.26	4,46	6,64
Smith Kenneth	6.91	+0.72	7,24	2.18	2.25	4,59	6,67
Gamache Dominic	6.94	+0.75	7,20	2.35	2.22	4,26	6,76
Blau Tobias	6.99	+0.80	7,15	2.21	2.41	4,52	6,22
Blau Tobias	7.02	+0.83	7,12	2.25	2.37	4,44	6,33
Kaufmann Erik	7.08	+0.89	7,06	2.40	2.31	4,17	6,49

### 光電管間の距離の設定（シングル）

上述と同様、ゴー&リターンテスト（例えば 400m 走）や全てのラップ間距離が同じ時に使用します。

光電管間の距離設定は、1つのテストにだけ適用され、複数のテストを同時に設定することはできません（距離が異なる可能性があるからです）。

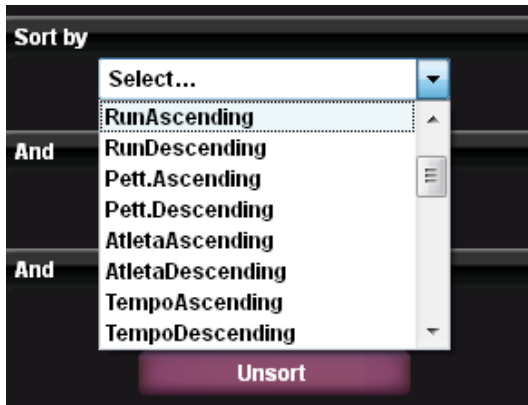
光電管（ゲート）間の距離設定（複数とシングル）についての詳細については **Witty** タイマーのマニュアル（**5.1.1.4.3** と **5.1.1.4.4**）をご参照ください。



### 3.3.1.2 並び替え

この機能は、数値データとグラフを見る順番を自由に選択するためのものです。つまり列のソートを指定するものです。

ソートは列ごとに 3 つまで指定できます（昇順または降順）。列はドロップダウンメニューから選択します。表示中のテーブルに示されている列項目のみ指定可能でユーザーがテンプレート作成時に付けた名前が表示されます。す。に示されている項目のみです。<並び替えをリセット>で 3 つのドロップダウンメニューがリセットされデフォルトの順序に戻ります。



下の例では、テーブルがテストを実施した日付でソートされ、次に Run の降順でソートされ、最後にスプリット 1 のタイム（速い選手が先頭）でソートされています。

Sort by	Trial Date	Run	Bib	Name	Time	Gap	Speed [m/s]	Split 1
Trial DateAscending	25/11/2012 09:24:53	2	1	Rossi Pierluigi	6.44	+0.25	7,76	2.05
	25/11/2012 09:24:53	2	2	Smith Kenneth	6.91	+0.72	7,24	2.18
And RunDescending	25/11/2012 09:24:53	2	3	Blau Tobias	6.99	+0.80	7,15	2.21
	25/11/2012 09:24:53	2	12	Espino Cesario	6.74	+0.55	7,42	2.24
And Split 1Ascending	25/11/2012 09:24:53	2	5	Kaufmann Erik	7.46	+1.27	6,70	2.49
	25/11/2012 09:24:53	2	20	Gamache Dominic	7.35	+1.16	6,80	2.64
	25/11/2012 09:24:53	1	6	Espino Cesario	6.19	0.00	8,08	2.08
	25/11/2012 09:24:53	1	3	Blau Tobias	7.02	+0.83	7,12	2.25
	25/11/2012 09:24:53	1	2	Smith Kenneth	6.37	+0.18	7,85	2.32
	25/11/2012 09:24:53	1	5	Gamache Dominic	6.94	+0.75	7,20	2.35
	25/11/2012 09:24:53	1	4	Kaufmann Erik	7.08	+0.89	7,06	2.40
	25/11/2012 09:24:53	1	1	Rossi Pierluigi	7.24	+1.05	6,91	2.72
	28/11/2012 09:32:14	1	1	Rossi Pierluigi	6.45	+0.26	7,75	1.97
	28/11/2012 09:32:14	1	6	Espino Cesario	6.87	+0.68	7,28	2.10
	28/11/2012 09:32:14	1	5	Gamache Dominic	6.62	+0.43	7,55	2.14
	28/11/2012 09:32:14	1	2	Smith Kenneth	7.59	+1.40	6,59	2.39
	28/11/2012 09:32:14	1	4	Kaufmann Erik	7.21	+1.02	6,93	2.55
	28/11/2012 09:32:14	1	3	Blau Tobias	7.57	+1.38	6,61	2.55
	04/12/2012 09:54:33	1	6	Espino Cesario	6.54	+0.35	7,65	2.01
	04/12/2012 09:54:33	1	1	Rossi Pierluigi	6.70	+0.51	7,46	2.11
	04/12/2012 09:54:33	1	3	Blau Tobias	6.98	+0.79	7,16	2.27
	04/12/2012 09:54:33	1	5	Gamache Dominic	7.48	+1.29	6,68	2.35
	04/12/2012 09:54:33	1	4	Kaufmann Erik	7.41	+1.22	6,75	2.40
	04/12/2012 09:54:33	1	2	Smith Kenneth	7.01	+0.82	7,13	2.82

### 3.3.1.3 フィルター

<フィルター>を使うと、次のふたつの項目で数値データの行を絞り込むことができます。

- 選手の名前
- 試行番号

選手の性（または名、もしくはその両方）またはその最初の数文字（例えば Ros や Pier）を名前の欄に入れます。もちろん姓名をいれることができますが、その場合は名をさきに性は後になるように入ってください。<フィルター解除>をクリックすると再び全ての行を表示します。

Filter		Show									
Athlete	Rossi Pierluigi	Trial Date	Run	Bib	Name	Time	Gap	Speed [m/s]	Split 1	Split 2	
# Trial	1	25/11/2012 09:24:53	1	1	Rossi Pierluigi	7.24	+0.79	6.91	2.72	4.85	
Best Trial	No	28/11/2012 09:32:14	1	1	Rossi Pierluigi	6.45	0.00	7.75	1.97	4.32	
		04/12/2012 09:54:33	1	1	Rossi Pierluigi	6.70	+0.25	7.46	2.11	4.32	
Minimum						(#1)6.45	(#1)0.00	(#1)6.91	(#1)1.97	(#1)4.32	
Maximum						(#1)7.24	(#1)+0.79	(#1)7.75	(#1)2.72	(#1)4.85	
Avg						6.79	+0.34	7.37	2.26	4.49	
Std Dev						0.40	+0.40	0.43	0.39	0.30	
CV						5.9%	116.4%	5.8%	17.6%	6.8%	

拡大鏡のマーク をクリックして表示された選手のリストから複数の選手にチェックを入れると、これらの選手のデータだけに絞り込み表示されるようになります。

Members of ATHLETES			Filter										
Bib	Last Name	First Name	Athlete	Rossi Pierluigi;Smith Kenne	Trial Date	Run	Bib	Name	Time	Gap	Speed [m/s]	Split 1	Split 2
<input checked="" type="checkbox"/>	1	Rossi	Pierluigi	# Trial	1	25/11/2012 09:24:53	1	6	Espino Cesario	6.19			
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Smith	Kenneth	Best Trial	No	25/11/2012 09:24:53	1	2	Smith Kenneth	6.37			
<input type="checkbox"/>	3	Blau	Tobias			25/11/2012 09:24:53	1	1	Rossi Pierluigi	7.24			
<input type="checkbox"/>	4	Kaufmann	Erik			28/11/2012 09:32:14	1	1	Rossi Pierluigi	6.45			
<input type="checkbox"/>	5	Gamache	Dominic			28/11/2012 09:32:14	1	6	Espino Cesario	6.70			
<input checked="" type="checkbox"/>	6	Espino	Cesario			28/11/2012 09:32:14	1	2	Smith Kenneth	6.70			
<input type="checkbox"/>	7	Fierro	Carlos			04/12/2012 09:54:33	1	6	Espino Cesario	6.70			
<input type="checkbox"/>	8	Adler	Peter			04/12/2012 09:54:33	1	1	Rossi Pierluigi	6.70			
<input type="checkbox"/>	9	Colombo	Ennio			04/12/2012 09:54:33	1	2	Smith Kenneth	6.70			
<input type="checkbox"/>	10	Frost	Edward			04/12/2012 09:54:33	1	1	Rossi Pierluigi	6.70			
<input type="checkbox"/>	11	Conti	Aldo			04/12/2012 09:54:33	1	2	Smith Kenneth	6.70			
<input type="checkbox"/>	12	Rodarte	Victor			04/12/2012 09:54:33	1	1	Rossi Pierluigi	6.70			
<input type="checkbox"/>	13	Mercier	Gustav			04/12/2012 09:54:33	1	2	Smith Kenneth	6.70			
<input type="checkbox"/>	14	Ford	Ron			04/12/2012 09:54:33	1	1	Rossi Pierluigi	6.70			
<input type="checkbox"/>	15	Brunelle	Nicolas			04/12/2012 09:54:33	1	2	Smith Kenneth	6.70			
<input type="checkbox"/>	16	Della Vedova	Mario										
<input type="checkbox"/>	18	Rossini	Alessandro										
<input type="checkbox"/>	19	Rossinovich	Boris										

<ベストトライアル>の「はい」と「いいえ」をえらぶことにより、個々の選手がベスト記録を出した（時間の項目列の数値をもとに）試行だけを抽出し、そのランキングを作成します。

Filter		Show				
Athlete	Rossi Pierluigi;Smith Kenne	Trial Date	Run	Bib	Name	Time
# Trial	1	25/11/2012 09:24:53	1	6	Espino Cesario	6.19
Best Trial	Yes	25/11/2012 09:24:53	1	2	Smith Kenneth	6.37
		25/11/2012 09:24:53	1	1	Rossi Pierluigi	7.24

### 3.3.1.4 印刷

結果表示画面の<印刷>から詳しいレポートを出力することができます。

The screenshot shows the WITTY Manager software interface. On the left, there is a sidebar with 'Data' and 'Charts' sections. The 'Data' section has 'Test details' with 'Show' and 'Hide' radio buttons. The 'Charts' section lists various chart types like 'Time', 'Gap', 'Speed', 'Lap 1', 'Lap 2', 'Speed L1', 'Speed L2', 'Gap L1', and 'Gap L2', each with 'Show' and 'Hide' radio buttons. Below the sidebar are buttons for 'Apply', 'Change Logo', 'Change Footer', and 'Back'. The main window displays a 'Report' for '10/12/2021 16:56:57'. Below the report title is a 'Test Data' table with columns for 'Trial Date', 'Run', 'Bib', 'Name', 'Time', and 'Gap'. The table contains 15 rows of data with green checkmarks in the first column. Below the table are summary statistics for 'Minimum', 'Maximum', 'Avg', 'Std Dev', and 'CV'.

	Trial Date	Run	Bib	Name	Time	Gap
✓	25/11/2012 09:24:53	1	6	Espino Cesario	6.19	0.00
✓	25/11/2012 09:24:53	1	2	Smith Kenneth	6.37	+0.18
✓	25/11/2012 09:24:53	2	1	Rossi Pierluigi	6.44	+0.25
✓	25/11/2012 09:24:53	2	12	Espino Cesario	6.74	+0.55
✓	25/11/2012 09:24:53	2	2	Smith Kenneth	6.91	+0.72
✓	25/11/2012 09:24:53	1	5	Gamache Dominic	6.94	+0.75
✓	25/11/2012 09:24:53	2	3	Blau Tobias	6.99	+0.80
✓	25/11/2012 09:24:53	1	3	Blau Tobias	7.02	+0.83
✓	25/11/2012 09:24:53	1	4	Kaufmann Erik	7.08	+0.89
✓	25/11/2012 09:24:53	1	1	Rossi Pierluigi	7.24	+1.05
✓	25/11/2012 09:24:53	2	20	Gamache Dominic	7.35	+1.16
✓	25/11/2012 09:24:53	2	5	Kaufmann Erik	7.46	+1.27
•	Minimum				(#6.T1)6.19	(#6.T1)0.00
•	Maximum				(#5.T2)7.46	(#5.T2)+1.27
•	Avg				6.89	+0.70
•	Std Dev				0.39	+0.39
•	CV				5.7%	56.0%

左端に表示されるラジオボタンから、レポートに表示させたい数値テーブルの項目とグラフを選択することができます。<適応>をクリックするかツールバーのアイコンをクリックしてください。

This screenshot shows the same software interface as above, but with the 'Test Data' item selected in the navigation tree on the left. The 'Test Data' item is highlighted with a blue background. The 'Main Report' tab is also visible in the top right corner of the main window.

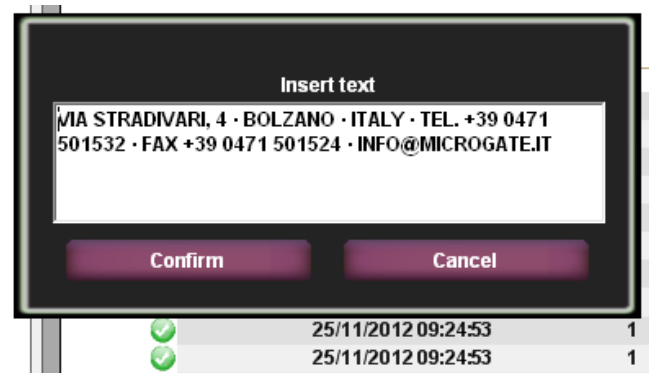
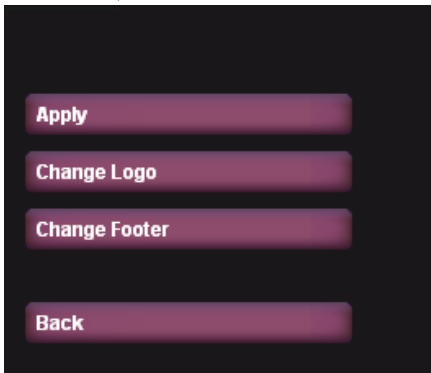
画面で見える範囲によっては、レポートの左端のナビゲーションツリーは、そのページでは表示されず、次のページにずれ込むことがあります。

ツールバーには以下のものがあります。



- **適用:** <適用>表示/非表示の変更設定と同じ機能を持ちます。
- **印刷:** 印刷ダイアログウィンドウを立ち上げます。
- **エクスポート:** PDF、ワード、エクセル、Html フォーマットで保存します。
- **検索:** レポート内の言葉を検索します (例えば選手の名前など)。
- **ズーム:** 様々なパーセンテージでレポートを拡大します。
- **Go To:** 4 つのボタンを用いて Use the 4 buttons to browse to the first, previous, following, or last page.

<ロゴの変更> と <フッターの変更>により、レポートに表示させたいロゴと個人データ (右上と下に表示される) をカスタマイズできます。

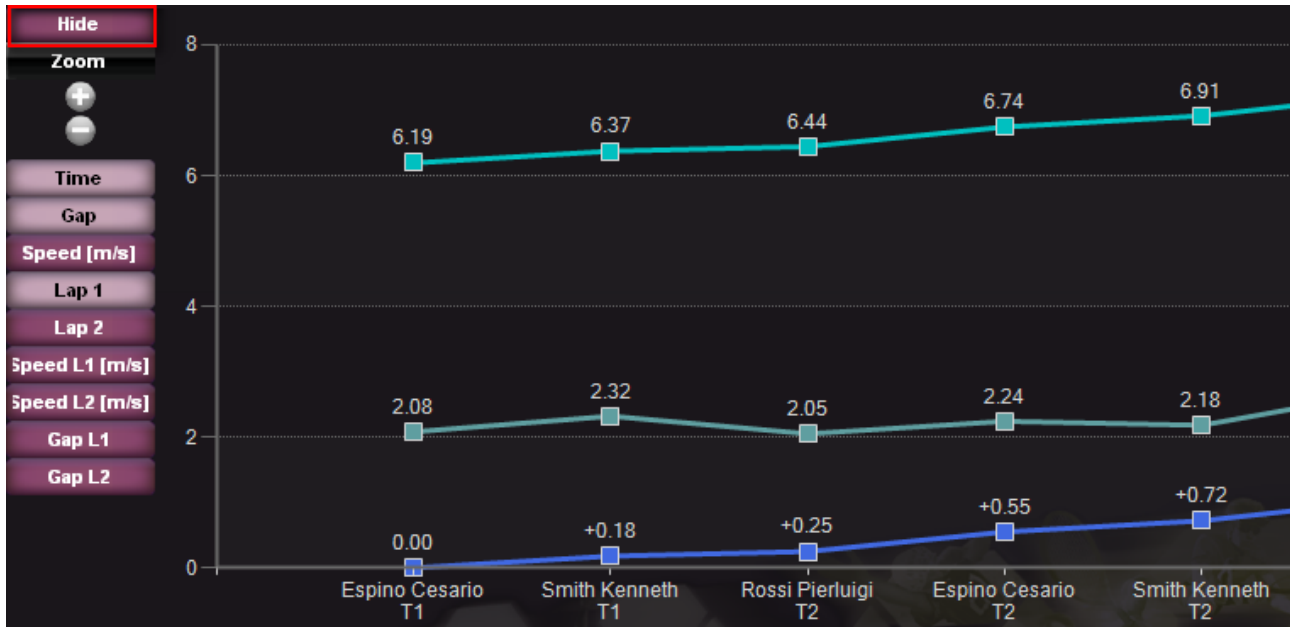


<戻る>でレポート表示画面から結果表示画面に戻ります。

### 3.3.2 グラフ



数値テーブルに表示されている全ての数値（時間、中間時間、ギャップ、スピード）は、グラフのポーグラフまたは折れ線グラフで表示できます。

グラフを表示させる必要がない時は、左上の<表示><表示しない>を切り換えることで非表示にすることもできます。



数値データテーブル内のどのデータ項目をグラフに表示させるかはグラフ左側の項目名アイコンをクリックで切り替えるだけで設定できます。上の例では、時間、ギャップ、ラップ 1 以外は非表示（暗い色）となっているため、これ以外のグラフは表示されていません。

ボタン右の小さな四角形のアイコンをクリックするとカラー選択ウインドウが開きますから好きな色を設定して<OK>で確定してください。

マウスをボタン上に持っていくと（クリックせずに）、グラフのタイプが表示されます（折れ線グラフ 、棒グラフ ）。どちらかを押すと切り替わります。

「ズーム」したのシンボルをクリックすると、グラフの拡大 $\oplus$ と縮小 $\ominus$ が可能です。グラフ下に表示されるスラドバーで、表示させたい部分を移動させることができます。

### 3.3.3 数値データテーブル

上述したように、数値データテーブルの各行には、テンプレートで指定された通り（標準およびオリジナルに作成）の項目が表示されます。

	Trial Date	Run	Bib	Name	Time	Gap	Speed [m/s]	Lap 1
✓	25/11/2012 09:24:53	1	6	Espino Cesario	6.19	0.00	193,86	2.08
✓	25/11/2012 09:24:53	1	2	Smith Kenneth	6.37	+0.18	188,38	2.32
✓	25/11/2012 09:24:53	2	1	Rossi Pierluigi	6.44	+0.25	186,34	2.05
✓	25/11/2012 09:24:53	2	12	Espino Cesario	6.74	+0.55	178,04	2.24
✓	25/11/2012 09:24:53	2	2	Smith Kenneth	6.91	+0.72	173,66	2.18
✓	25/11/2012 09:24:53	1	1	Rossi Pierluigi	7.24	+1.05	165,75	2.72
⊖	Minimum				(#6.T1)6.19	(#6.T1)0.00	(#1.T1)165,75	(#1.T2)2.05
⊖	Maximum				(#1.T1)7.24	(#1.T1)+1.05	(#6.T1)193,86	(#1.T1)2.72
⊖	Avg				6.64	+0.45	181,01	2.26
⊖	Std Dev				0.38	+0.38	10,43	0.24
⊖	CV				5,9%	84,9%	5,8%	10,8%

表の最下部にはそれらの次のような統計データが表示されます。

- 最小値（背番号#と試行番号 T で特定されています）
- 最大値（背番号#と試行番号 T で特定されています）
- 平均値
- 標準偏差
- 変動係数（変動係数 CV=標準偏差/平均値で、相対的なバラツキの大きさを示す）

行を右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

1	6	Espino Cesario	6.19	0.00
1	2	Smith Kenneth	6.37	+0.18
2	1	Rossi Pierluigi	6.44	+0.25
2	12	Espino Cesario	6.74	+0.55
2	2	Smith Kenneth	6.91	+0.72

- Replace
- Cancel
- Modify Trial Number

- **背番号の置き換え:** 背番号を置き換えます。元のデータが他の選手のものとなります。もしデータベースに同じ背番号の選手がいる場合、どちらにするかを確認するポップアップウィンドウが開きます。
- **行の削除:** その行を削除します（確認画面が開きます）。
- **トライアル番号の変更:** トライアル（試行）番号を変更します。

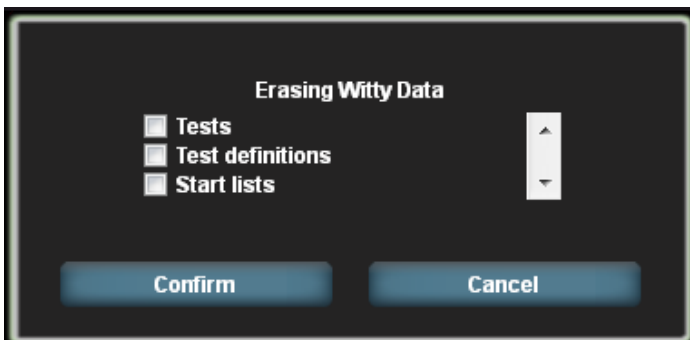
### 3.4 WITTY

Witty タイマーを PC に付属の USB ケーブルで接続すると、画面右上の Witty 未接続という表示が Witty 接続済に変わります。



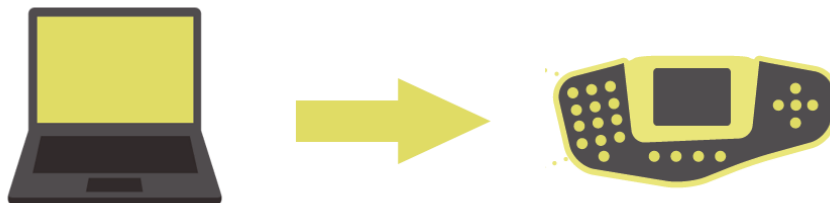
#### 3.4.1 WITTY のデータをクリア

Witty タイマーに保存されているデータ（実行済みのテスト結果、テストの設定、スタートリスト、アスリートデータ）を削除します。削除したい項目（複数選択可）を選んで<OK>で確定します。

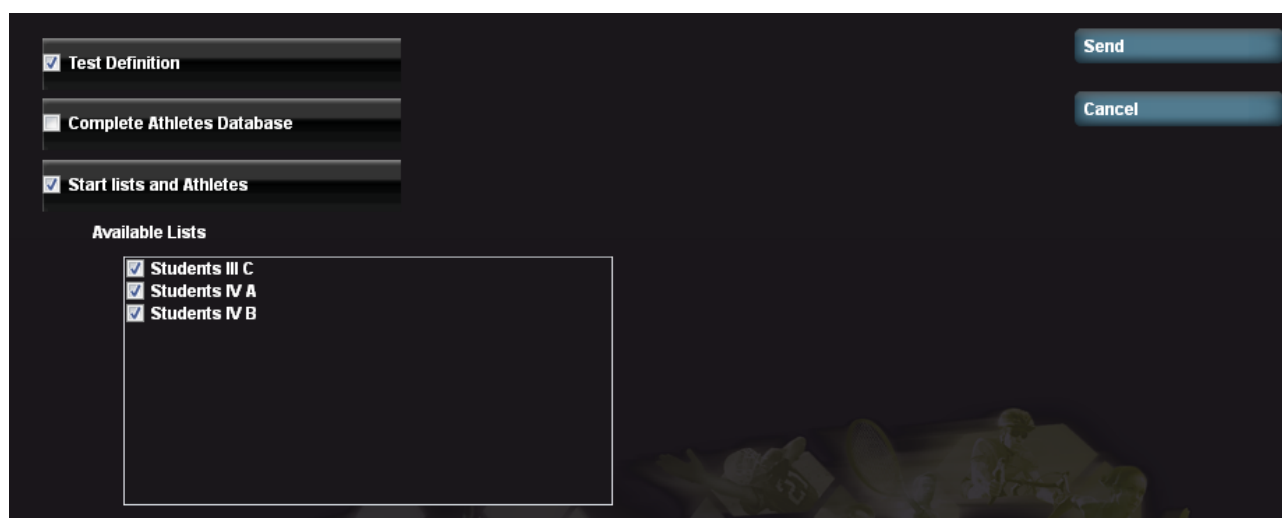


### 3.4.2 WITTY ヘデータをダウンロード

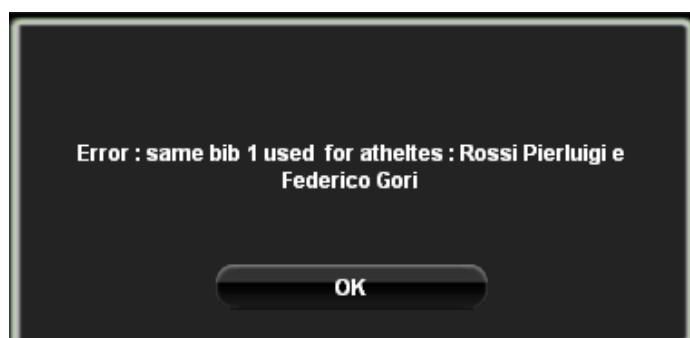
PC で設定したテストの定義、アスリートデータ、スタートリストを Witty タイマーへダウンロードします。



タイマーに転送したい内容を選びます（複数選択可）。「スタートリスト」はどのリストを転送するかを選択してください。ご注意：すでにアスリートデータベースの**全体**が Witty タイマーに転送されているにもかかわらず、1 つまたはその中のいくつかのリストだけを転送すると、そのリストに含まれる選手だけがコピーされ、他のリストは Witty タイマーから削除されます



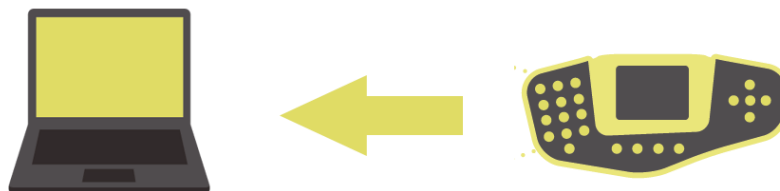
同じ背番号の選手で異なる氏名の選手がすでにタイマー内にいる場合、警告が表示され、転送することはできません。





### 3.4.3 WITTY からのデータをアップロード

新しいテストタイプを Witty タイマー自体で作成し、そのテストタイプを Witty マネージャーで表示できるようにするには、Witty タイマーから PC にデータをアップロードすることができます。



<Witty からのデータをアップロード>を押し、テストとその定義を転送します。その後<結果>を開くと、Witty タイマーで作成し実行したテストが表示されるがわかります。

テストとアスリートデータとの関係、つまりアスリートの性および名と背番号の関連付けは、いかにそれらのデータが入力されたかその作業の流れに依存します。推奨される作業の流れは以下の通りです。

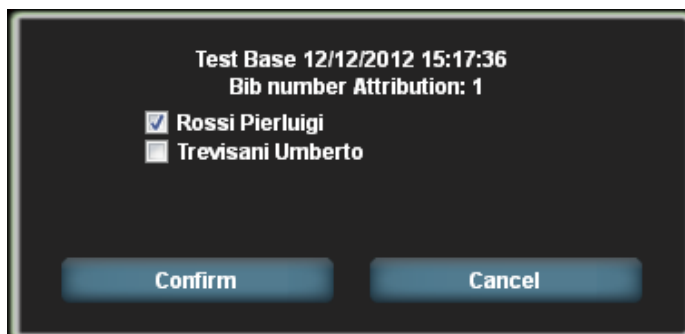
1. PC で新しいデータベースを作成し、氏名を追加する。
2. 作成したアスリートデータベースを Witty タイマーにダウンロードする（全体または絞り込んだリスト）。
3. それらのアスリートでテストを実行する。
4. Witty タイマーから PC にデータをアップロードする。
5. 結果画面で Witty マネージャープログラムが自動的に関連付けをしているのを確認する。

この流れで行った場合（下の表の最上段のケース）、例えば、もしテストをアスリートの氏名を特定せずに実施すると（背番号だけが表示される状態）、他のアスリートを追加することができます。以下にいくつかの例を示しました。

PC 内のアスリートデータ	Witty 内のアスリートデータ	PC 内での関連付け
有	PC からダウンロードしたデータ	自動
有	テスト実施時には存在しない	自動（同じ背番号で別の選手を測定した時は手動）
無	テスト実施時には存在しない	名前と背番号は関連づけられない
無	有るが、他の PC のデータベースからダウンロードしたもの	テスト結果に加えてアスリートデータもダウンロードされるので、PC 内のアスリートデータと測定結果が自動的に関連づけられ更新される
有	有るが、他の PC のデータベースからダウンロードしたもの	PC 内のアスリートデータが同じ背番号の選手のデータを取り込む

**NB:** もし、Witty タイマーに選手の氏名が存在しない状態でテストを実施し、その後でアスリートデータが PC からタイマーに転送されても、これらのテストの背番号には選手の氏名は自動的に関連づけされません（背番号には氏名が空欄のままです）。

もしデータベースに同じ背番号の選手が複数名いる場合、テスト結果のダウンロード時にどのアスリートに結果を関連付けるかを確認する画面が表示されます。



### 3.4.4 WITTY ファームウェアのアップデート

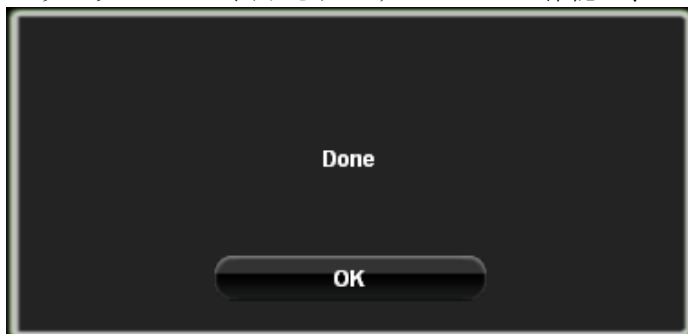
Witty マネージャー起動時に、新しいファームウェアがあるというメッセージが表示されると最新バージョンのファームウェアをダウンロードすることができます。

Witty タイマーを接続してアップデートを完了させてください。終了後、PC からタイマーを取り外し、いったんスイッチをオフしてから再起動してください。その後ファームウェアが確認され、もう一度リスタートを要求されます。タイマー内のデータ（アスリート、テストの定義、テスト結果）はそのまま保存されています。しかし、念のためにファームウェアをアップロード前にバックアップのためにこれらのデータを PC に転送（3.4.3 参照）しておくことをお勧めします。



### 3.4.5 WITTY 光電管ファームウェアのアップデート

タイマーと同じく光電管のファームウェアもアップデートできます。光電管の電源をオフにして、USB ケーブルで接続してください。オペレーティングシステムがドライバーを認識した後、LED が赤と緑に交互に点滅します。<光電管ファームウェアのアップデート>をクリックするとしばらくすると完了というメッセージが表示されますので<OK>で確認し、USB を外します。

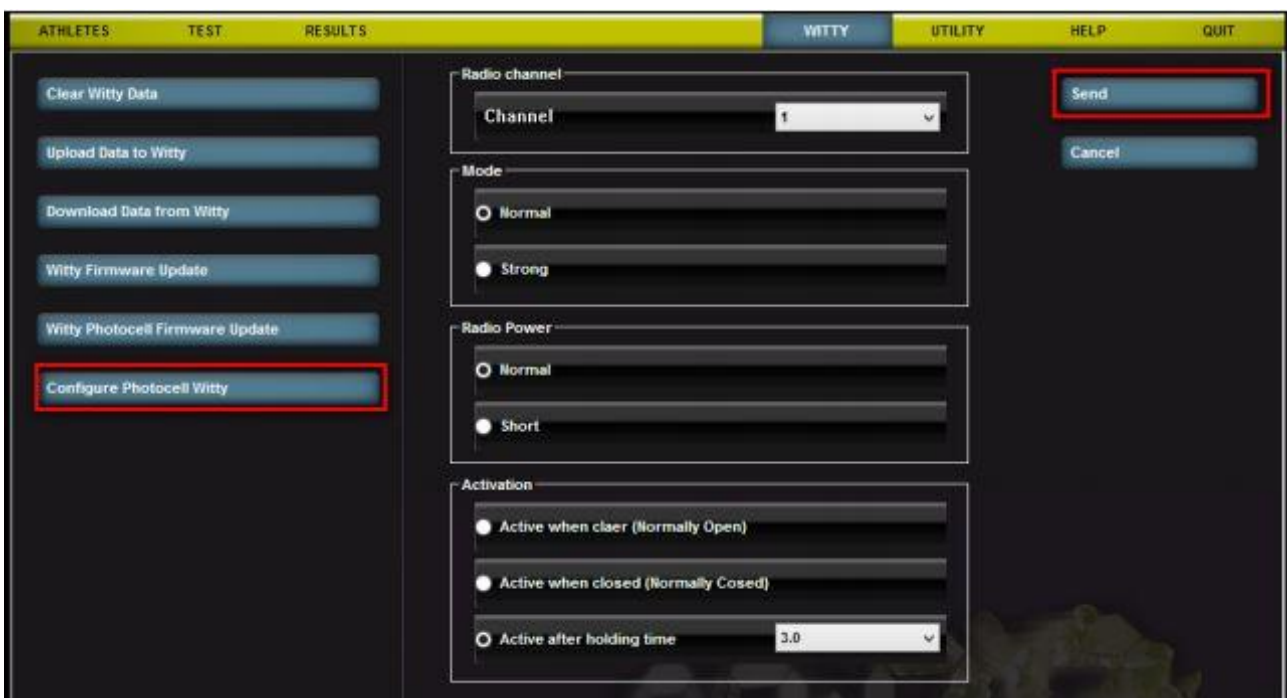


**ご注意:** 光電管のバッテリー残量が **25%以下**の状態ではタイマーおよび光電管のアップデートは行わないでください。まず **3~4 時間**の充電を先に行い、バッテリーが十分充電されてからファームウェアのアップデートを行ってください。

### 3.4.6 WITTY 光電管ファームウェアの設定

この機能は USB ケーブルと光電管を接続することで光電管のファームウェアの設定を変更することができます。以下の手順で設定を変更することが可能です。

- 光電管の電源をオフにして下さい。(この時点では PC と光電管はまだ接続しないでください。)
- 電源 on/off ボタンを光電管後部の LED とが赤色で点滅するまで 5 秒間長押しします。この赤色の LED ライトがゆっくりと点滅している状態が【周波数変更モード】です。
- USB ケーブルを接続した光電管と PC を接続します。
  - 接続した光電管のシリアルナンバーと現在の設定状況が表示されます。
- <WITTY 光電管ファームウェアの設定>(注意：WITTY 光電管ファームウェアアップグレード最下段のボタンを選択します。)
- 以下の画像の様に設定を変更することができます。
- <送信>ボタンを選択して下さい。
  - その後、ソフトウェア上に設定変更が<完了>と表示されます。
- USB ケーブルをポートから抜き、指定した設定で光電管をご使用いただくことが可能です。



光電管を【周波数変更モード】にし、WITTY タイマーの<設定>→<無線>→<周波数>の順に選択し<最後に初期設定に戻す>を選択すると周波数以外の光電管の設定が初期設定(デフォルト設定)に戻ります。(詳細は WITTY タイマーマニュアルの項目 5.4.1.2 をご覧ください。)

#### 3.4.6.1 周波数の設定、光電管モード、RADIO POWER

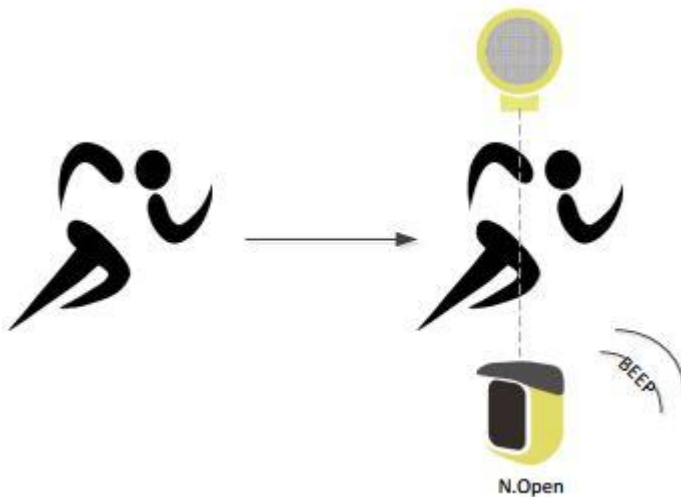
これらの機能に関しては WITTY タイマーマニュアルの項目 5.4.1.2. と 5.4.1.3. をご覧ください。

### 3.4.6.2 アクチベーション

この特別な設定は不正な設定を防止するために WITTY マネージャー(PC ソフトウェア)のみで設定変更ができ、接地で反応するように光電管の設定が変わります。すなわち光電管のインパルスと送信をタイマーが感知した際に作動します。

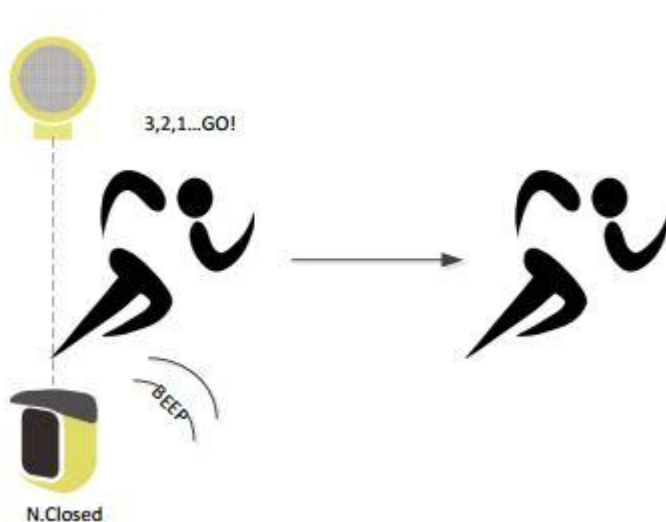
#### 3.4.6.2.1 Normally Open(ノーマリーオープン)

この設定はデフォルトの設定です。すなわち、アスリートが通過により光電管が遮断され信号が送信される際と光電管が遮断されていない状態で作動します。



#### 3.4.6.2.2 Normally Closed(ノーマリークローズド)

この設定は上記(ノーマリーオープン)と逆の設定です。光電管のビームが遮断されている時と光電管が遮断されている状態から信号がリフレクターに送信された際にタイマーが作動します。一例として光電管のビームよりも内側にアスリートがいる状態で使用することができます。その光電管のビームが【スタートライン】となり、アスリートがスタートした際に、光電管の信号が発信されます。



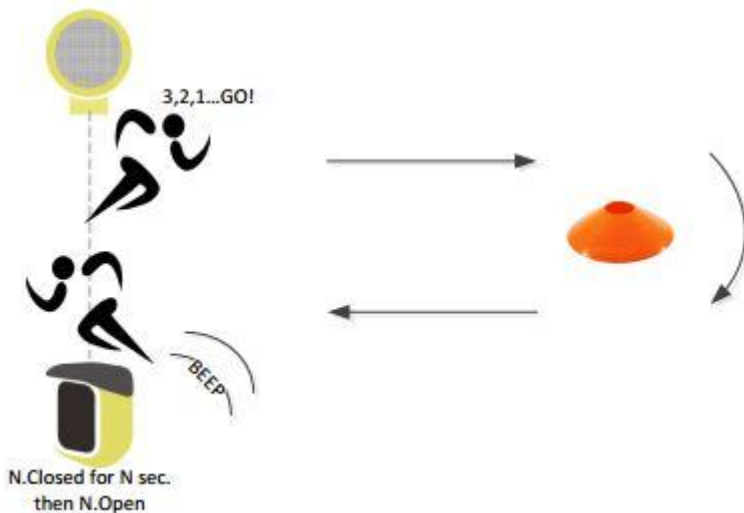
### 3.4.6.2.3 待機時間(ホールドタイム)後にアクティブ

この設定はそのトライアルが終了するまでスタート地点滞在時はノーマリークローズド設定の状態、最初のインパルスが信号を確認した際にゴール地点で遮断するゲートがノーマリーオープンになる設定です。詳細は以下の例をご覧ください。

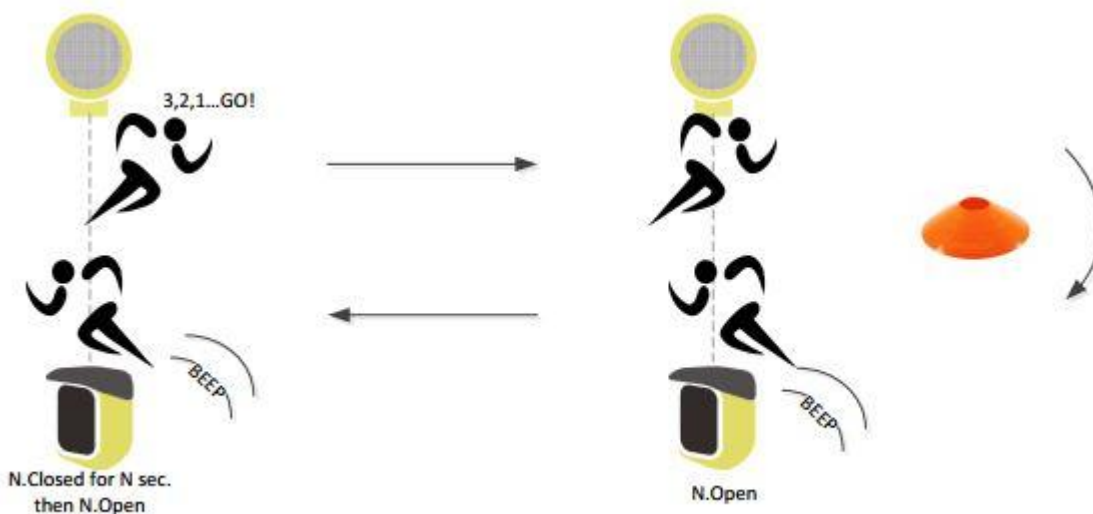
#### アジリティテストに際に光電管内側でスタートを行う場合(以下図参照)

アスリートは光電管の信号をスタートラインとして使用し、待機時間のカウントダウンを n 秒に設定 (【光電管のファームウェアのアップグレード】で変更が可能) し、上記の図の様にアスリートがスタートの準備時間として待機時間を 3 秒に設定することが可能です。アスリートがスタートすると同時に光電管がスタート信号とを自動的にリセット信号を出し、ノーマリーオープン設定に切り替わります。これは次の信号が遮断されるとラップタイム、または終了の信号を出すができるということを表しています。

タイマー上で次のアスリートを選択するとスタートゲートの光電管は再び、ノーマリークローズド設定に戻ります。



光電管のゲート数を増やす場合は必要に応じて異なる設定が可能です。



## 3.5 オプション

### 3.5.1 基本設定

オプションの基本設定から以下の項目が設定できます。常に右端の<保存>を押すことを忘れないようにしてください。



General	
Language	ENGLISH
Units	International
Speed	m/s
Accuracy	1/100s
Webcam	NONE

Buttons: Save, Cancel, Test

#### 3.5.1.1 言語

仕様言語はプログラムの使用中いつでも変更可能で、その都度リスタートする必要はありません。ドロップダウンメニューが選んで<保存>してください。

#### 3.5.1.2 単位

スピードを計算する際の距離の単位を設定します。国際単位を選択した場合はメートルとセンチメートルで、US 単位を選択した場合はフィートとインチで入力してください。

#### 3.5.1.3 スピード

スピード表示の単位を m/s、km/h、miles/hour、もしくは knots から選んでください。選択した距離の単位と合わせてください。

#### 3.5.1.4 精度

テスト結果の時間を表示する精度を選びます（秒、1/10 秒、1/100 秒、1/1000 秒）。ここでの設定はあくまで表示する精度の設定であり、計測自体は表示精度とは関係なく可能な限り高い精度で行われます（1/25000 秒）。

また、Witty タイマーから PC へのデータ転送時にも最大の精度で実行されここでの設定にはエ依拠されません。

#### 3.5.1.5 ウェブカメラ

PC に接続しているウェブカメラをデータベースに含めるためのアスリートの写真を撮影する際に使用できます。ドロップダウンメニューから1つカメラを選択し、<テスト>ボタンをクリックして動作確認し、必要に応じてパラメータを設定してください<確認>で設定を保存します。

### 3.5.2 データベース

Witty マネージャーは、全てのデータ（アスリート、テスト、結果、設定等々）をデータベースファイル（Sql サーバー CE フォーマットで拡張子.SDF）。ほとんどのユーザーは、全ての情報を1つのファイルで管理することができます。デフォルトでこのファイルは、'Witty.sdf'という名前で以下のフォルダーに収納されています。

Documents\Microgate\Witty Manager

このフォルダーはご使用の OS や言語によって異なりますが、WindowsVISTA/7/8 では、以下のアドレスにあります。

C:\Users\*UserName*\Documents\Microgate\Witty Manager  
C:\ユーザー<*UserName*>\マイドキュメント\Microgate\Witty Manager  
<*UserName*>はパソコンにログインする時のユーザーネームです。

XP の場合は、

C:\Documents and Settings\*UserName*\ My Documents\Microgate\Witty Manager

もしデータベースファイルが移動されたり削除されたりしている場合、プログラムの起動時に Witty マネージャーがエラーを報告します。検索できない場合は、Witty マネージャーが新しい空のデータベースを作成します。

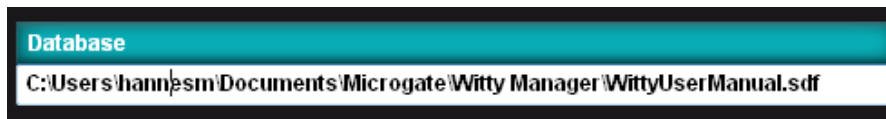
次のような場合、複数のデータベースを持っていてそれらを個別に扱うことも可能です（複数を同時に使用することはできません）。例えば、チームのトレーナーがあるシーズンのデータベースと他のシーズンのデータベースを別々に扱いたい（この場合、シーズン間の比較をすることはできません）。フリーランスのコンサルタントが様々なチームのクライアントを対象として別々のデータベースでテストをしたり分析をしたりする必要がある場合等です。

データを他の PC に転送したり、他の研究者に渡したり、クライアントに渡したりする際にもデータベースごとエクスポートすることが可能です。



### 3.5.2.1 データベース

現在使用中のデータベースの格納場所が表示されています。<新規>で新しい空のデータベースを作成し、<選択>でどのデータベースを使用するかを決めます。



### 3.5.2.2 新規

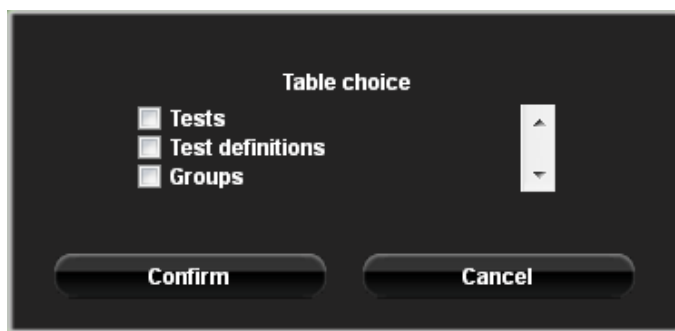
空の新しいデータベースを作ります。フォルダーを指定してください。

### 3.5.2.3 選択

複数のデータベースがある場合、どのデータベースをアクティブにするかを決めます。

### 3.5.2.4 消去

現在のデータベースのなかのデータを空にしますが、消去したい項目をテスト、テストの設定、グループ、アスリートから指定することができます。<OK>で確認すると二度と復旧させることはできませんのでご注意ください。



### 3.5.2.5 エクスポートと名前を付けて保存

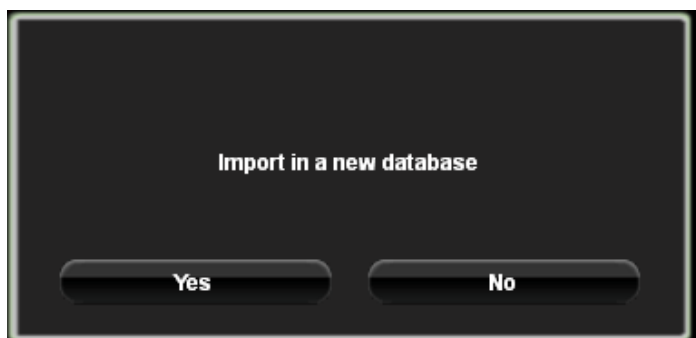
これら 2 種のコマンドは、現行のデータベースの複製に用います。複製を作っておくと、データベースのバックアップ取っておくことができるほか、例えば新シーズンの開始時に、前シーズンのデータの複製を作成し、アスリートデータとグループデータを残したまま、テスト結果だけを空にすることで新シーズン用の新しいデータベースを簡単につくることができ非常に便利です。保存するフォルダーを決め、分かりやすい名前を付けてください。<名前を付けて保存>では、フォーマットは.sdf 形式でファイルをコピーするのですが、<エクスポート>ではこれ以外に.wyt という拡張子が用意されています。これはビデオや写真の情報を含めた 7zip 形式の圧縮ファイルを出力します。

### 3.5.2.6 インポート

以前エクスポートされた.wyt ファイルを他の PC や同じ PC に取り込みます。2つのデータベースを結合（現在のデータベースに新たなデータベースのデータが追加されます）するためにもこのコマンドを使います。

これには2つのステップが必要です。

- インポートをしようとするプログラムが新しいデータベースをインポートするのか、それとも現在のデータベースに新しいデータベースを結合するのかを聞いてきます。



- 次にインポートするための.wyt 拡張子の付いたファイルが格納されている場所を聞いてきます。

最初の質問に「はい」で答えると、新しいデータベースをインポートします。インポートするファイルとその格納場所を指定してください。

「いいえ」で答えると、現在のデータベースに新しいデータベースを結合します。選択したファイルが現在のデータベース（格納場所も同じ）に取り込まれます。

### 3.5.3 アップデートの確認

このボタンをクリックすると、システムはインストールされているバージョンをチェックし、もし利用可能な Witty マネージャーの新しいバージョンが有る場合、それをダウンロードするよう促します。  
ご注意: この機能は PC がインターネットに接続されている状態で使用してください。

### 3.5.4 バージョン情報

以下の情報を表示します。

- Witty マネージャーソフトウェアのバージョンデータベースのバージョン。
- タイマーと光電管で利用可能な最新ファームウェアのバージョン。
- 使用中のコンピュータのハードウェアとソフトウェアのスペック。

もし技術サポートスタッフがこれらの情報をお尋ねした時は、このウインドウ内の情報をドラッグして指定し、右クリックからコピーして、E メールに張り付けてお送りください。このウインドウを閉じるには右上の X をクリックしてください。



## 3.6 ヘルプ

PDF ファイルですので保存、印刷可能です。

## 3.7 終了

プログラムを閉じます。

## 4 PC 必要システム構成

Microsoft Windows XP Sp3、Vista Sp2、Windows 7 または Windows 8 を搭載した標準のデスクトップまたはノート PC であれば、Witty マネージャーを使用する上で特に問題はありませんが、ソフトウェアのインストール前にお使いの Windows をアップデートすることをお勧めします。

ハードウェアの必要スペックは以下のとおりです。

	MINIMUM	RECOMMENDED
オペレーティングシステム	Microsoft XP SP3	Vista/7/8 (32 o または 64 bit)
CPU	Atom/Centrino	i3/i5/i7
RAM	2 GB	4 GB
ハードディスク	40 GB	160 GB
グラフィックカード	Integrated	Dedicated (512 Mb or above)
画面解像度	1024x600	1600x900 以上
USB ポート	1	2 (Witty + Webcam)

Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要ですが、Witty マネージャーのセットアップ時に自動的にインストールされます。

## Copyright

Copyright © 2009-2012 by Microgate S.r.l.

All rights reserved

本マニュアルおよび附属文書の全部またはいかなる部分も Microgate s.r.l.およびエスアンドシー株式会社に無断でコピーしたり複製したりすることを禁じます。

本マニュアルおよび附属文書内の全ての商標および製品名は各法人に所属する登録商標の可能性がります。

Microgate、REI2、RaceTime2、および MiSpeaker は、Microgate S.r.l.の登録商標です。

Microgate s.r.l.およびエスアンドシー株式会社は、本マニュアルに帰された商品および関連マニュアルを事前通知することなく変更する権利を有します。

ソフトウェアとマニュアルは以下の言語で利用可能です。イタリア語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語。

### Microgate S.r.l.

Via Stradivari, 4

I-39100 Bolzano

ITALY

Tel. +39 0471 501532 - Fax +39 0471 501524

info@microgate.it

<http://www.microgate.it/witty>



### エスアンドシー株式会社

〒612-0019

京都市伏見区深草平田町 7-3-208

Tel. 075-643-7507 Fax. 075-643-7507

info@sandcplanning.com

<http://www.sandcplanning.com>

